

パラグアイ青果物流通改善計画
実施協議調査報告書

平成 3 年 7 月

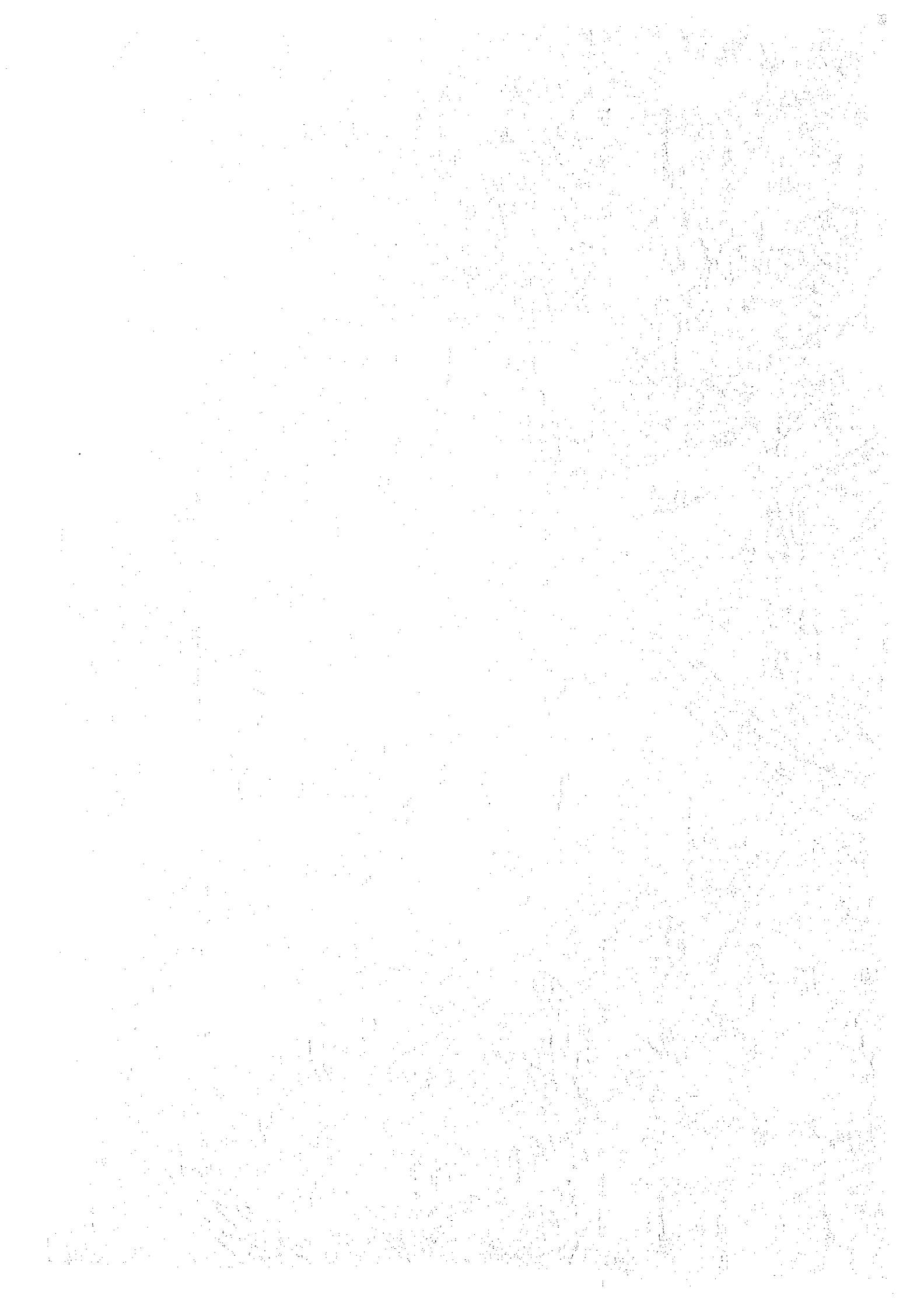
国際協力事業団

農開畜

JR

91-9

ARY



パラグアイ青果物流通改善計画
実施協議調査報告書

JICA LIBRARY



1094625(9)

23117

平成3年7月

国際協力事業団

国際協力事業団

23117

序 文

国際協力事業団は、パラグアイ共和国政府の要請を受け平成2年4月青果物流通改善計画に関する事前調査を実施し、その調査報告を踏まえ、平成3年2月22日から3月9日まで農林水産省食品流通局市場課課長補佐佐藤幸衛氏を団長とする実施協議調査団を現地に派遣しました。

同調査団は、パラグアイ共和国政府関係者と実施のための協議を行い、討議議事録(R/D)及び暫定実施計画の署名交換を行いました。その結果、本プロジェクトを、平成3年3月6日から5ヶ年間の計画で実施することになりました。

本報告書は、同調査団による協議結果等を取りまとめたものであり、今後本プロジェクトの実施に当たり広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援を頂いた内外の関係各位に対し心より感謝の意を表します。

平成3年7月

国際協力事業団

理事 田 口 俊 郎



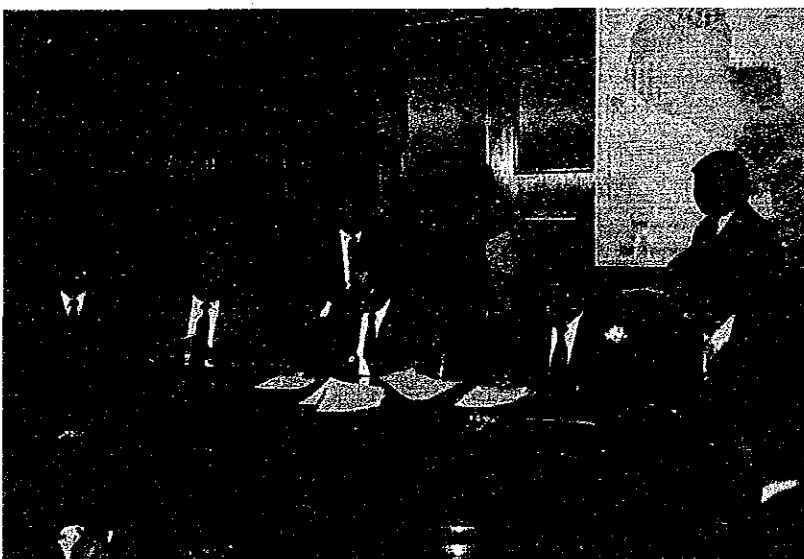
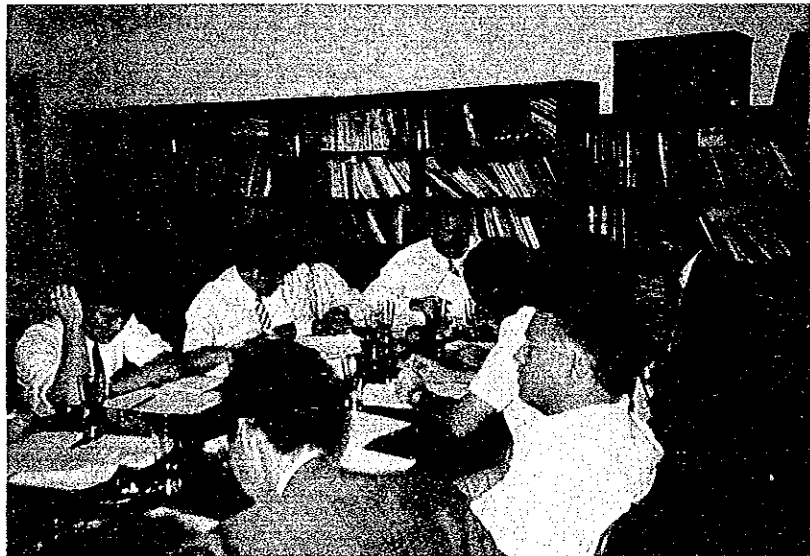
◀農牧省表敬

正面

右：技術官房局長

左：農業経済流通局長

▶パラグアイ側との協議



◀R/D署名

(着席中央3名右から佐藤団長、パ国農
牧大臣、アスンシオン市長)



◀アスンシオン中央食品卸売市場調査及び日系農協中央会との打ち合わせ

増築中のSIMA事務所▶
(サンロレンソ)



◀新築中の
コロネルオビエド農協

目 次

序 文	
写 真	
I. 調査団の派遣	1
1. 調査団派遣の背景、経緯及び目的	1
2. 調査団の構成	2
3. 調査日程	2
4. 主要面談者	3
II. 要約（プロジェクト概要）	5
III. 調査結果	7
1. 実施体制の確認及びプロジェクトサイトの概要	7
2. 協力課題	11
1) 卸売市場運営	11
2) 青果物集出荷システム	13
3) 情報提供システム	14
3. ローカルコスト負担事業	15
IV. 実施上の問題点	16
付 属 資 料	19

I. 調査団の派遣

1. 調査団派遣の背景、経緯及び目的

- (1) パラグアイ国の農業は国内総生産の約25%を占め、経済人口の約45%以上が農業に従事している。また、輸出額の95%以上が農業部門によるものであり、国の開発政策においても農業部門は常に重要な位置を占めている。

このような中で野菜と果物を含む食品の流通を改善するため、アスンシオン市は世界銀行の融資を受けて中央卸売市場の施設を建設し、1981年12月から7年間日本政府の技術協力を受け、中央卸売市場のプロジェクトが行われた。

- (2) このプロジェクトにより市場の体制は整備できたものの、アスンシオン市は生産者に対して品質規格の採用を強制する職権を持たないため、合理的な市場流通体制の確立が不十分な状況にあった。このためパラグアイ政府は品質規格を利用した効率的な青果物の流通体制を整備するため、1989年に日本大使館を通じ、日本政府に再び技術協力を正式要請してきた。
- (3) 上記の経過を踏まえ、当事業団はパラグアイ側の要望を確認するとともに、我が国の技術協力にかかる対処方針を説明し、本計画に係る事前調査を実施するため事前調査団を派遣した。

同調査団により、本計画の協力内容は青果物の流通改善に関し、生産地から卸売市場までの集出荷流通機構を編成し、運営を軌道に乗せるための技術協力であるが、そのためには青果物流通機構の編成、整備だけでなく、関連情報提供の体制整備、卸売市場の運営改善も重要かつ必要であることが確認された。

同調査団はパラグアイ側との協議の結果、当初パラグアイ側から要請のあった基本計画（マスタープラン）の骨子について一部の修正を含め大筋において合意してきた。

- (4) 次に、事前調査団がパラグアイ側と合意してきた基本計画（マスタープラン）の骨子に添って、パラグアイ側の意向及び実施体制を確認し、マスタープラン案の詳細調整、暫定実施計画案に関わる調査検討を主目的とし、あわせてブラジル、アルゼンティンの生産地から卸売市場までの青果物流通事情の調査、機材の調査を実施し、実施協議調査の事前補強をするとともに、プロジェクトのスムーズな立ち上がりに資することを目的として、長期調査員4名を派遣した。
- (5) 以上のような事前調査団及び長期調査員の調査結果をふまえ、本件プロ技協実施のための基本計画（マスタープラン）及び事業実施計画（専門家派遣、供与機材、研修員受け入れ計画等）につき協議し、その結果を討議議事録に署名することを主目的とし、平成3年2月22日から平成3年3月9日まで農林水産省食品流通局市場課佐藤幸衛氏を団長とする実施協議調査団を派遣した。

2. 調査団の構成

総括兼卸売市場運営

佐藤 幸 衛 農林水産省食品流通局市場課 課長補佐

青果物集出荷システム兼情報提供システム

岩元 明 久 農林水産省食品流通局野菜振興課 課長補佐

協力企画

倉多 光 信 農林水産省経済局国際部国際協力課 無償係長

協力政策

西田 和 史 外務省経済協力局技術協力課 外務事務官

業務調整

福井 伸 治 国際協力事業団農業開発協力部畜産開発課

3. 調査日程

月日曜日	行 程	調 査 内 容
2/22	金 成田→	往路、機内泊
23	土 →アスンシオン	〃
24	日 アスンシオン	調査団打ち合わせ JICA職員、関係者との打ち合わせ
25	月 〃	農牧省技術官房局長、経済流通局長表敬 アスンシオン市長表敬 JICA事務所打合せ サンロレンソ (S.I.M.A) 視察、打ち合わせ
26	火 〃	中央食品卸売市場視察、打合せ、 農牧省、アスンシオン市関係者とR/D、 TSIについて協議
27	水 〃	農牧省、アスンシオン市関係者とR/D、 TSIについて協議
28	木 アスンシオン⇨ コロネル・オビエド	コロネル・オビエド移住地視察、打合せ (プラスグァライを含む)
3/1	金 アスンシオン	公設小売市場視察、中央食品卸売市場日系農協組合員との打合せ
2	土 アスンシオン ⇨ラ・コルメナ	ラ・コルメラ移住地視察、打合せ
3	日 アスンシオン	資料整理

4	月	〃	農牧省、アスンシオン市関係者とR/D、 TSIについて最終打合せ 農牧大臣表敬、農牧省普及局長表敬、
5	火	〃	調査団打合せ、R/D、TSI(案)完成団長レター、ミニッ ツ(案)完成
6	水	〃	農牧省、アスンシオン市関係者とR/D、 TSI著名、JICA事務所へ報告
7	木	アスンシオン →	日本大使館へ報告 帰路、機内泊
8	金	→	〃
9	土	成田	

4. 主要面談者

農牧省 (Ministerio de Agricultura y Ganadería)

Ing. Agr. Raul Torres Segovia Ministro de Agricultura y Ganadería
(農牧大臣)

農牧省技術官房局 (Ministerio de Agricultura y Ganadería, Gabinete Técnico)

Ing. Agr. Ronaldo E. Dietze Director (技術官房局長)
Ing. Agr. Henry Moriya F. Asesor Técnico (技術アドバイザー)
Ing. Agr. Zulema Puieda B. Asesor Técnico (技術アドバイザー)

農牧省経済流通局 (Dirección de Comercialización y Economía Agropecuaria D. C. E. A)

Ing. Agr. Wilfrido A. Zarate G. Director DCEA (経済流通局長)
Ing. Agr. Roque Lequizamon Director, Dpto. Difusion
y Asistencia Técnica
Ing. Agr. Myriam Yorina Coord. del SEM/DCEA (調整員)

S.I.M.A.

Ing. Agr. Rafaela Bobadilla Coordinación, Dpto. Difusion
de Maltines y Asistencia Técnica (主任)

Ing. Agr. Lidia Conzalez Troche Tec. Aux. Coordinación
Srita. Ruth Noemi Monti Lopez Secretaria
Sr. Carlos Cantero Florentin Secretaria

農業普及局 (Servicio de Extensión Agrícola Ganadera - SEAG)

Ing. Agr. Patrocinio Alonso Jara Director (局長)

アスンシオン市庁 (La Municipalidad de Asunción)

Sr. Jos Luis Alder Ibanex

CNEL, DEM, ING, Givil Militar Intendente
Municipal de Asunción (市長)

アスンシオン市食品流通管理局

(Dirección de Abastecimiento de la Municipalidad de Asunción-D. A. M. A.)

Ing. Agr. Francisco J. Spezini F. Director (DAMA) (局長)

Ing. Agr. Vidal Tadami Seki Nara Jefe de la Div. Operacional (運営室長)

Ing. Agr. Geraldo Lopez Z. Jefe Dpto. Técnico Oper. (技術運営部長)

Sr. Crisostomo Ramos Jefe Dpto. Administrativo (総務部長)

Dra. Estanislra Ocampos Jefe Dpto. Financiero (財務部長)

日系農業共同組合中央会

(Cooperativa Central NIKKEI Agrícola Limitada, Mercado Central de ABASTO)

渡辺勝弥 (日系農業協同組合中央会 担当理事)

(アスンセーナ園芸組合 組合長 理事)

広田英郎 (日系農業協同組合中央会アバスト販売所参事)

アスンシオン第4公設市場 (Mercado 4)

Loc. Osmar Alvizo Administrador (管理者)

コロネル・オヴィエド農協 (Cooperativa de Ahorro y Credito "Cnel. Oviedo" Limitada)

Sr. Humberto Molinas Presidente (会長)

Lic. Nidia Alfonso de Martines Dpto. Educación (教育部)

Sr. Heriberto Gonzalez Gerente (組合長)

Sr. Fabio Niz Narvaez Dpto. Educación (教育部)

Sr. Francisco Burgos Jefe Dpto. Agropecuaria

プラス・ガライ入植地開発振興計画プロジェクト (Proy. de Desarrollo Rural Col. Blas G.)

Sr. Fermin Flor Productor (生産者)

及川博之 青年海外協力隊員 (野菜栽培)

照井健辞 " (食用作物)

北浜裕康 " (病虫害防除)

近藤勇 " (果樹栽培)

ラ・コルメナ農協 (Cooperativa Agro-Industrial la Colmena Ltda)

関実五郎 (理事長)

高橋正 (副理事長)

熊野基治 (監事長)

岡田旭一 (監事)
宮本一弥 (財務理事)

在パラグアイ日本国大使館 (Embajada del Japón en Paraguay)

丸山俊二 (大使)
Sr. Matsumi Nakahara (中原) (二等書記官)

JICAパラグアイ事務所 (JICA Paraguay Office)

細川英夫 Director (所長)
清水嘉一郎 業務第2課長
鹿野正雄 業務第2課
飯原善太郎 業務第2課
森本一生 専門家 (農牧省技術官房局農業開発企画)
Ing. Agr. Shosuke Suenaga Asesor Especial de MAG (農牧省顧問)

II. 要 約

本調査団は、本プロジェクト開始にあたり、先の事前調査団及び長期調査員の調査結果を踏まえ、今後5年間の技術協力の基本方針（マスタープラン）及び事業実施計画（専門家派遣、機材供与、研修員受入れ等）につき、パラグアイ側と協議し、その結果を討議議事録（R/D）にとりまとめ合意、署名を行うことを主目的として派遣された。また、パラグアイ側の協力実施体制及び今後の協力の進め方について、再確認するとともにパラグアイ農牧大臣へ団長レターを提出し、併せてパラグアイ側からのプロジェクト実施に関する要望書の受理及びパラグアイ側実施責任者との間でプロジェクト実施に関する覚書（M/M）の署名を行った。

主な調査項目及び確認内容は以下のとおりである。

(1) R/D、TSIについては、以下の点が協議のポイントとなり合意された。（資料参照）

1) R/Dにおいて先方が要望していた「日側が講じるべき措置」の「特別措置（プロ基盤整備事業）」に関しては、集出荷部門の施設について将来的に必要性が生じること予想されるものがあるものの、現時点にてその必要性が不明確であるため、削除し記載しないこととした。

但し、具体的に必要性が生じかつ、我が方予算確保の見通しがついた時点にて、追記することとした（M/Mに記載）。

2) 本プロジェクトにおける青果物流通改善センターの位置付け、機能、目的等が明確となったことにより、「プロジェクト組織図」中「青果物流通改善センター」の構成について、普及局（SEAG）を削除した。

本センターとは、独立した活動拠点となる新組織ではなく、C/Pの活動拠点となっている関係機関が集まった連絡調整等の協議の場となることが明確となった。

同時に、専門家の活動拠点、C/Pの配置場所、センターの構成人員が明確となり、技術移転の立ち上がりの円滑化を図ることとなった（M/Mに記載）。

3) 「日本人専門家」に関し、「情報提供システム」分野の英語名を“Information communication system”と改め、かつ、リーダーの他の分野との兼務の可能性を加えた。

(2) 団長レターについて以下の項目を盛り込み、農牧大臣に手交した。

- 1) プロジェクト運営上、農牧省（MAG）及びアスンシオン市との連携
- 2) 専門家事務室の確保
- 3) サンロレンソにおけるSIMA事務所の整備
- 4) C/Pの適正配置
- 5) ローカルソフト確保等の予算措置
- 6) 公式要請書の速やかな提出

(3) パ側より本協力に当たっての要望事項として、第3国での研修の実施、技術官房局を含めたプロジェクト評価の実施が挙げられたが、前者については不可能であること、後者については合同委員会にて可能であることとして、回答した。

(4) M/M記述事項について以下の項目につきパ側との間で、合意、確認した。

・確認事項

- 1) 我が方技術協力の目的（R/D ANNEX I. 2の再確認）
- 2) 青果物流通改善センターの位置付け等
- 3) 専門家の活動拠点
- 4) 各分野のC/Pの配置場所
- 5) C/Pの永続的適正配置及び連絡調整役の明示
- 6) 機材の管理責任の明確化
- 7) ローカルコスト確保等の予算措置
- 8) 活動拠点となるSEM及び協力機関である普及局（SEAG）との連携（農協への指導における役割分担等）
- 9) アスンシオン市食品流通管理局（DAMA）の冷蔵施設の有効利用

・パ側要望事項に対する我が方対応

- 1) 「特別措置（ローカルコスト負担事業）」のR/Dへの追記条件
- 2) 第3国での研修実施の困難性

パラグアイ青果物物流通改善計画プロジェクト概要

1. プロジェクトの目的

アスンシオン市中央食品卸売市場を中心として野菜、果物の品質規格基準に基づいた集荷、選別、荷姿の統一、出荷を行うための流通機構を編成整備し、農産物の品質管理の向上荷姿の

改良を図り、ひいてはパラグアイ国の農産物生産振興に寄与すること。

2. 先方実施機関

農牧省 (MAG) 及びアスンシオン市

3. 協力機関

1991. 3. 6より5年間

4. プロジェクト責任者

- (1) 総責任者……農牧省技術官房局長 (合同委員会委員長)
- (2) 運営、管理責任者……農牧省経済流通局長 (青果物流通改善センター長)

5. プロジェクトサイト

(1) メインサイト

青果物流通改善センター

農牧省経済流通局長 (DCEA長) を長とし、DCEA下のSIMA、SEM及びアスンシオン市食品流通管理局 (DAMA) のC/Pより構成される、プロジェクト目的推進のための協議、調整機関 (通常の技術移転の場合はDCEA下のSIMA、SEM及びDAMA)

(2) サブサイト

- ・アスンシオン市中央卸売市場
- ・農牧省普及局 (SEAG) 事務所 (ラ・コルメナ、コロネル・オヴィエド)
- ・ラ・コルメナ、コロネル・オヴィエド農協

6. 長期専門家の分野及び主な活動拠点

- ・リーダー ……DCEA内
- ・青果物集出荷システム ……DCEA下のSEM (DCEA建物内)
- ・情報提供システム ……DCEA下のSIMA (アスンシオン市郊外のサンロレンソの事務所)
- ・卸売市場運営 ……DAMA
- ・調整員 ……DCEA内

7. 当面の協力計画

- (1) 長期専門家の派遣……5～7月頃に5分野4名 (リーダー、卸売市場は兼任)
- (2) 機材供与……90年度分 (車両、事務機器、パソコン等20百万円相当) 3月中
- (3) 研修員受け入れ……91年度2名予定。1名は6～8月頃の子定。

III. 調査結果

1. 実施体制の確認及びプロジェクトサイトの概要

本プロジェクトは、「パ」国農牧省農業流通経済局長をプロジェクト管理責任者とするが、協

力する専門分野ごとに、カウンターパートとなる機関が異なる（各機関の物理的な設置場所も異なる）うえに、協力課題中「農業協同組合から市場までの集出荷に係る流通機構の編成、運営に関する指導」の産地側のモデルサイトとして2地区が予定されていることから、プロジェクトサイトは、多岐にわたることとなる。プロジェクトの円滑な実施のためには、プロジェクトサイト間の連絡調整及び相互協議を緊密にすることが不可欠であり、本プロジェクト実施に際し「青果物流通改善センター」の果たす役割は重要である。日本国側もまた同センターの連絡調整機能が十分に発揮されるよう、プロジェクトの進捗に応じたポイントを押さえた柔軟な指導援助を遂行することが必要である。

(1) 青果物流通改善センター

- 1) 青果物流通改善センターとは、農牧省経済流通局（DCEA長）を長とし、DCEA下のSIMA、SEM及びアスンシオン市食品流通管理局（DAMA）のC/Pより構成される、プロジェクト目的推進のための協議、調整機関として位置付けられ、委員会的性格を持つソフト的なものであり、組織令等に基づく独自の予算のついたハード的な建物、施設を持つ機関のことは意味していない。
- 2) 通常、専門家による技術移転が行なわれる活動拠点は以下のとおりである。
 - ・リーダー ……DCEA内
 - ・青果物集出荷システム ……DCEA下のSEM（DCEA建物内）
 - ・情報提供システム ……DCEA下のSIMA（アスンシオン市郊外のサンロレンソの事務所）
 - ・卸売市場運営 ……DAMA
 - ・調整員 ……DCEA内
- 3) 他方、DCEA長としては、本センターを将来的には普及所職員、農協職員等の研修実施機関として拡張する構想を持っており、サンロレンソの事務所に併設した倉庫の改修工事を進めたい意向であるが、右については本プロジェクトの対象外、範囲外である点は先方も伝えおいた。
- 4) 今回の調査における大きな発見は青果物集出荷システム分野の担当部署として、DCEA下のSEM（市場化普及部）の存在が明らかにされた点及び、技術移転の場としての機関が2、のとおりに既存のもので十分に対応可能であることが判明した点にあり、したがって、新たな機関としての本センターがプロジェクト進行に当たっての協議、調整の場としての位置付けにより、十分機能し得るものであることが判明した点にある。

(2) SEM

アスンシオン市内にある農牧本省内の農業流通経済局にある。今回の調査において、SEMの施設を檢分したが、手狭ではあるが青果物集出荷システムの専門家が必要とするスペース

の確保は可能と思われた。

しかし、チームリーダ、業務調整の事務室スペースを農業流通経済局内に確保する必要があることを勧案すると必ずしも問題なしとしない。

(3) SIMA

サンロレンソ市にある。本プロジェクトにかかる情報の蓄積を担当するSIMAの施設は今後重要な拠点となる。しかし、現在当施設は、スペースが狭いうえに電気、電話等の設備の不備が見受けられる。農牧省は、当地に本プロジェクトの実行部隊となるSEAGの普及職員や農協職員の研修施設を兼備したセンター機能を持つ施設を整備する構想をもっている。このため、農業流通経済局は、専門家には当地を拠点として提供するという考え方に立ち、専門家用に当面の事務所拡張工事を実施中であった。5月頃までには完成するということがあったが、適当な施設になるか疑問なしとしなかった。本プロジェクトの円滑な推進のため、パ側に十分な措置を講じるよう働きかける必要があると同時に、十分な施設条件が整うまでの間は、十分な施設条件の整っているDAMAを活動の中心的な拠点とすることも検討する必要がある。

(4) DAMA

本プロジェクトでは、モデル市場的な位置付けである。しかし、これまでアスンシオン市中央食品市場改善計画で日本国の技術協力のカウンターパートであった経験を有し、人的にもスペース的にも受け入れ体制は良好である。

受け入れ体制の問題に加え、市場における正確な情報収集・提供システムを確立することが各専門分野での活動の基本的な前提となるため、当面は各専門家とも活動の拠点を当地とすることが妥当と考える。この考えについては、本協議調査の際に農牧省側に提示しているが、早急に具体的な詰めを行う必要がある。

また、DAMAの施設に関しては、R/Dの署名の際、農牧大臣がアスンシオン市長に対しDAMAの施設内に農牧省の職員を駐在させることはできないかという内容の注目すべき発言を行っている。この発言の背景なり、意図なりについてはなお不明な点が多くあるが、今後本プロジェクトの実施体制を大きく左右する可能性もあるので、この点もさらに詰める必要がある。

(5) コロネル・オビエド地区

1990年11月22日、正式に農業共同組合になった。現在2階建ての事務所を新設中であり、近日中には移転を完了する。コロネル・オビエド農協では、組織改編に伴い営農指導に力をいれたいとしており、その初期的な指導を本プロジェクトに期待している。本協議調査団に対しても、専門家はいつからくるのか、すぐにでも指導をはじめてもらいたいとの要請があるといった状況である。

また、プラスグァライ入植地のSEAGの普及事務所において、87年11月から5年間の計画で青年海外協力隊がプロジェクトチームを組み、SEAG側のカウンターパート及び入植地の生産者に対して野菜、果樹栽培技術指導の協力を行っている。普及事務所の敷地内には、研修施設、展示圃等に加え、集出荷施設が設置されている。

プラスグァライ入植地は、コロネル・オビエド農協の管内であり、コロネル・オビエド地区内の野菜栽培の中心地である。青果物流通改善計画の産地側のモデル地区としてこの入植地を含め、青果物の共同出荷体制を整備し流通改善することは、青年海外協力隊が実施している野菜、果樹の生産技術指導と有機的な連携を図ることとなり、効果的、効率的な技術協力になる可能性がある。しかし、今回の現地調査では、優良苗の供給等を中心とした青年海外協力隊の協力も隊員の精力的な努力の結果、ようやく軌道に乗り出した段階との印象であり、また、過去のいきさつからプラスグァライの生産者にはコロネル・オビエド農協に対する不信感があり、将来はプラスグァライだけで農協組織を作りたいという話もあった。プラスグァライ入植地と協働できるかは今後さらに調整する必要がある。

(6) ラ・コルメナ地区

パ国政府は、国家経済・社会開発計画の一環として、都市近郊の畑作地帯における農業近代化を図るためのモデル事業をめざし、ラ・コルメナ地区において農村総合整備事業を計画し、日本に対し、生産性向上、農業所得の安定及び農村生活の改善を図るための開発調査の実施と、その結果を受け無償資金協力を要請してきた。

開発調査に基づく事業実施計画では、当該地区の農業振興及び農村の生活環境整備について、当面の対策に加え都市近郊農村のモデルとなる農村施設の整備水準及びその管理運営組織と方法を提案している。また、計画地区は、野菜、果樹等を基幹作物とする都市集約型の複合経営地区として位置づけられている。

開発調査を受けて、開発調査優先部門である①道路整備、②かんがい施設整備、③飲雑用水施設整備、④維持管理施設整備に対する無償資金協力要請がなされ、現在工事中である。この協力には青果物の流通に直接関係する施設、機材は含まれていないが、畑地かんがい施設の整備は、野菜、果樹等の作付け・収穫時期の拡大、増収につながると期待される。

このようななか、日系人で組織するラ・コルメナ農協を中心に本プロジェクトの受け入れ体制はできているといえる。

なお、開発調査において将来整備すべき施設の中で青果物流通に直接かかるものとして集出荷施設、選果施設及び低温貯蔵施設が含まれているが、無償資金協力は現在予定されておらず、本プロジェクトの中でこれらを設置できないかという期待感がラ・コルメナ農協にあることも事実である。

なお、協力課題におけるパ側の責任機関は（ ）内の通りである。

- 1) 農業共同組合から市場までの間の集出荷に係る流通機構の編成、運営に関する指導（農牧省農業経済流通局SEM）
- 2) 生産物の集出荷システムの確立に必要な機械類の整備とその運営、管理に関する指導（農牧省農業経済流通局SEM）
- 3) 野菜、果物の品質規格基準及び荷姿に関する指導とその普及方法に関する指導（農牧省農業経済流通局SEM、アスンシオン市食品流通管理局（DAMA））
- 4) 青果物流通センターを中心とした情報提供システムの整備とその運営、管理に関する指導（農牧省農業経済流通局SIMA、DAMA）
- 5) 中央卸売市場の青果物部門に関する運営の改善指導（DAMA）

ただし、上記課題の1～3については、SEMは農牧省普及局（SEAG）と協力して、農協、農民等の指導にあたる。

2. 協力課題

1) 卸売市場運営

これまでの事前調査団、長期調査団の調査結果のなかで検討事項となっているのについて、今回の調査において確認出来た内容を取りまめてみた。

(1) 入荷量の把握方法の改善及び販売量、販売金額の把握方法の検討

ア、卸売市場において、入荷量、販売量、販売金額は基本データであり、これらのデータの的確な把握いかんがその市場の業務運営面、情報提供面のステイタスを決める重要なポイントである。また、このことは市場の信頼性を確保する上でもその影響力は大きい。

イ、中央食品卸売市場（アバスト）は1982年に開場され、近く10年目を迎えようとしているが、入荷量等の基礎データの把握が未だ統計的に確立しておらず、いわばアバウト統計の状況にある。青果物流通の近代化を促進するうえで、この基礎統計の確立は必須であり、この点は早急に措置すべきであろう。

ウ、市場を管理するDAMAとしても、これらの基礎データ把握を高めるため、卸売業者等からの報告を受けるだけでなく直接業者等から聞き取りを行うなどデータ把握に努めているが、業者側が売上報告が即、税金対策に使われ、不利にはたらくのではという懸念もあり、未報告のもの、正確な報告でないもの（聞き取りにおいても同じ）があり、的確なデータ把握に苦慮しているが現状である。

エ、入荷量等の報告は業務条件でも卸売業者としてDAMAに報告業務があることでもあることから、DAMA当局も積極的な対応をすべきである。例えば卸売業者のもつ社会的責務を十分理解させ、公的施設を利用して取引を行う者は当然の責務として、これを遵守できない卸売業者に対してはその是正措置を講ずる等によりその実効性を高めていくこ

とも必要と考える。

(2) 取引の指標となるデータの検討とデータ処理システムの改善

ア、ここでは公正な取引と公開的な価格形成を確保するための一つの指標となる標準建値が構築できるかどうかである。標準建値については、これまで巡回指導調査団等よりその方式と定着のため指導を行い、主要な品目につき実行された経緯もあるが、現在は必ずしも定着しておらず、中断されている状況にある。

イ、標準建値がなぜ中断し、後退気味なのか普及定着しない要因はなにか等を今後十分分析、検討してみる必要がある。いずれにせよ、(1)に述べた入荷量等の基礎データの的確な把握と合わせて、標準建値のあり方も関係業者と検討し早急な対応策を講ずるべきであろう。

(3) 販売方法の改善

ア、関係業者、DAMA職員からの聞き取り。アバスト市場現場調査等から次の点が課題であり、今後改善すべきであると考ええる。

ア) 市場内に小売部門が混在しているため、卸売業者の販売時間と競合し、秩序ある取引が確保できない面が見受けられたこと。

イ) ア) との関係もあり、販売時間が長く、これが品質劣下を招き価格面にも影響していること。

ウ) 卸売業者の一部に生産者に対して売買仕切書を出さないため市場信用を損っていること。

エ) 販売単位が不明確であること、先付け取引も一部見受けられたこと。

オ) DAMAの職員の取引面における日常的な指導監督が十分でない。特に早朝のピーク時にはもう少し積極的な対応が必要であること。

イ、今後、アドバイスが生産者、消費者双方から市場信頼を確保していくためには、次の措置が必要である。

ア) 卸売市場としての秩序保持を図るため、卸、小売部門の売場の適正配置とそれぞれの販売時間、販売方法等をきめ細かく明確にすること。これにより販売時間の短縮と物流の合理化が図られ価格面でも安定化すると思われる。

イ) 公正な取引を確保するため、DAMAの職員は早朝等の取引繁忙時に、積極的に場立ちすることにより、取引の実情も把握でき卸売業者等からも信頼を得るものと思われる。現状のままでは業者等に対し、説得力ある指導等が難しいのではないかと考える。

ウ) 代金決済のあり方を検討すべきである。少なくとも売買仕切金にかかる精算書類は確実に作成し相手方に交付することは卸売業者として当然の責務であることを認識させることが必要である。

(4) 管理運営体制の整備

ア、卸売市場の円滑な運営と秩序維持を図るためには、その管理運営の掌に当たるDAMAの職員の日常的な指導監督が重要なポイントになる。

アバストの場合①小売部門が併設されていること②卸売業者の入場時における収容面での経緯（施設の利用の奨励）等からみてアバスト当局の管理、運営面での難しさも理解できるか、逆にそのような実情にあるからこそ、市場関係者とよく話し合っ市場の秩序維持を図ることが重要であると考えらる。

イ、現状においては、卸売市場の基本ルールを定めた業務規程が必ずしも市場関係者に理解されていない面があり、遵守の面でも十分とはいえない。卸売業者としての本来果たすべき役割、責務をDAMA当局は啓発して全体としての資質の向上を図るべきであらう。

ウ、また、卸売手数料が一定していないこと、卸売業者の数が多く品目によっては、過当競争になり、卸売業者によっては経営維持が、困難であるとのことである。したがって、今後、卸売業者の適限規模等そのあり方について検討を加えていくことも必要であらう。

エ、施設使用料については、業者に対し市場施設の利用の奨励という観点から、入場当初は無料であったが現在は施設使用料を徴収しているとのことである。しかし、この施設使用料もインフレ率にスライドした施設料金の引き上げは難しく、DAMA当局が引き上げの方向を打ち出すと、業者側は、国会、市会へかけ込みを行う等、適限とする施設使用料の引き上げは、なかなか実現できない状況にあるとのことである。市場会計の健全化を図る面から、この対応措置も今後の課題とならう。

2) 青果物集出荷システム

本プロジェクトは、パラグアイ国家経済・社会計画の一部である小農振興対策の一環として、パ国側に位置づけられていることから、農牧省は産地指導を重視している。青果物の流通改善にかかる産地指導は、SEMの指示によりSEAGの地方事務所が行うこととなっている。そこで、専門家の活動は、SEMの指導援助を中心に、必要に応じSEAGも指導援助することとなる。技術協力内容のパ国への定着を将来確保する観点からも、産地側のモデル地区であるコロネル・オビエド地区及びラ・コルメナ地区の直接指導は、SEM及びSEAGが相当する体制を確立する必要がある。諸般の事情から専門家が両地区を直接指導する場合には、必ずSEM、SEAGの担当者と合同で行うようにしなければならないだろう。

規格、荷姿等の統一、さらには輸送形態の合理化を図るなど出荷方法を改善して行くためには、産地のみならず市場側の有機的な協働が不可欠であることは論をまたない。この意味でも、モデル市場であるアスンシオン市中央食品卸売市場の開設者であるDAMA、さらには同市場卸売業者等の協力体制を確立することが重要課題となっていく。モデル産地2地区の

うちラ・コルメナ地区の方が野菜、果実生産の点では先進地であること、生産者組織は設立以来40年以上の歴史をもつ日系農協であること等の理由から、ラ・コルメナ地区の立ち上がりは比較的円滑に行くことを期待したいが、その成否の一端は出荷先である日系農業共同組合中央会アバスト販売所の協力体制如何にかかってこよう。そこで、専門家は、当初から日系農協中央会との連携を密にすることに留意する必要がある。

協力課題中「野菜果物の品質規格基準及び荷姿に関する指導とその普及方法に関する指導」については、パ国では未だ技術的な基礎的条件が十分に整っていない状況にある。このため、適正な鮮度・品質保持、規格・荷姿等の基礎的なデータを蓄積するための試験調査を実施する設備の整備を早急に行い、専門家は、農家指導の技術的基礎データの整備のための指導を並行して行う必要がある。

また、消費者の品質・規格に対する選好性や品質・規格差を評価する所得層の実態等消費側の実態について事前に十分把握するよう努める必要がある。

3) 情報提供システム

パ国側の構想する青果物流通改善計画の核心は、市場情報として入手される需要量と農協組織を介して積み上げる出荷見通しをもとに、いわば需給調整を行い、消費者の利益と同時に、農家経済の安定を図ろうというものである。これらを遂行するための前提条件として、正確な情報を迅速適切に収集・加工し、日々提供していくことが重要な課題となる。このようなことから、パ国側の情報処理のシステム化、具体的にはパソコンネット化への指導援助に対する期待には大きなものがある。

こうしたパ国側の需給調整の構想は、1983年から89年までにIICA (Inter-American Institute for Cooperation on Agriculture) が農牧省流通経済局に対して行った農産物の販売支援の技術協力のなかで検討されたようである。IICAの技術協力の具体的な内容は、次のとおりであった。

① 生産者に対する市場情報の提供

市況情報を提供し中小規模農家の出荷の計画化や仲買人との取引に役立てる。

② 農産物の生産予測

予測手法を用いて、播種計画、播種面積、生産量の予測を行い、各作物の生産に役立てる。

③ 市場（販路）の拡大

農産物の共同出荷を通じて、販路を拡大することにより、自主的な販売体制を確立する。これまでの調査団の報告によると、パ国の現状は、情報処理以前の段階であり、信頼できる市場情報を組織的に入手するシステムづくりを先行すべきであるという。確かに、今回の協議調査において痛感したことは、まずその必要性である。しかし、同時にパ国側には情報

処理を介した需給調整体制を一刻も早く整備したいという強い意欲があることも事実である。このようななかで、情報処理のシステム化の課題はその処理すべき情報内容から相対的に独立していること、情報処理の結果は情報内容の評価にフィードバックすること等を勘案し、当面情報入手の組織化を重点に活動することに加えて、パソコンによる情報処理システムの試験的構築に同時に取り組む必要がある。

3. ローカルコスト負担事業

(1) 長期調査にて、下記のとおり建物、施設整備に関して先方より我が方協力事項としての追加要請があった。

- 1) サンロレンソにおける技術指導（開発・普及・研修）のための建物・施設の改修
- 2) モデル農協における共同集出荷施設の設置

(2) パ側関係者との協議経過及び結論は以下のとおりであった。

1) 当初、(1)2)に関してのみ「プロ基盤整備事業」による協力も検討していたが当事業については本プロジェクト用に来年度（3年度）予算が確保されていないこと、かつ施設設置に係る規模、積算、建設時期等の構想が具体化していないことにより、当協力は困難である方針にて、協議に臨んだ。

2) 協議の結果、両者とも現段階における技術移転上の必要性が不明確なため、R/D上には記載しないこととした。

3) (1)1)に関しては、青果物流通改善センターがM/Mで示すとおり、協議、調整の場として位置付けられているため、農牧省経済流通建物内で十分対応可能であり、かつ、(1)1)の目的の施設は本プロジェクトの協力対象外と考えられることにより、必要性が認められない。

4) (1)2)に関しては、専門家による技術移転の過程にて、具体的に施設の必要性が明確となるものであり、現段階にて協力を約すには時期尚早である。

但し、その必要性が明確となり、かつ、我が方予算確保の見通しがついた時点にて本事業につき、R/D上に特別措置として追記することとした。

(3) パ側の対応と今後の対処方針

1) パ側としては、(1)1)に関し、我が方による対応への要望が強かったのに対し、(1)2)に関しては、特に具体的なイメージもなく、必要性を強く要望しているようではなかった。

但し、(1)2)に関し、ラ・コルメナ農協から我が方への要望はあったが、本プロジェクトの実施過程において、具体的な施設の必要性が明らかになるものであることを先方は納得したようであった。

2) 今回の調査にて、パ側の要望のとおり(1)1)に関し、何らかの措置が施せないかについて、団内打合せにおいても話が出たが、パ側が現在考えている目的に添って本建物の改装

を協力することは困難であるため、今後、本建物をプロジェクトの目的に添った形での活用を考えるのであれば、我が方事業による協力の可能性も否定されるものではない。

3) いずれにせよ、建物・施設の用途、目的の安易な転用は禁物であり、建物・施設整備はあくまでもパ側が主体的に実施するとの前提の上、パ側に予算確保の努力を促しつつ今後の技術移転過程における(1)1)の有効活用の必要性につき、検討していくべきであろう。

IV. 実施上の問題点

1. 農牧省施設

本プロジェクトは流通局を中心とした農牧省プロジェクトであるが、活動の拠点となるべきサンロレンソのSIMAは、現在、老朽化した手狭な施設である。将来、情報を蓄積し提供する中心機関となるためには、電話、電気等の不備もあり、今後、大幅な改善が必要となる。

生産者、消費者から信頼される情報を提供するためには、卸市場における正確な情報収集システムを確保することが、基本的な前提となる。当面は、アスンシオン市のアバストでシステムをつくる活動を行うが、農牧省でも受入態勢を整備する必要がある。農牧省は現在施設の改修が、5月までに終わると言っているが、改修が終わったとしても、中心機関となるためには手狭で不十分と思われる。今後、プロジェクトの円滑な遂行のためには、少なくとも応急対策費を検討する等の対応が必要である。

2. 活動の拠点

各専門家の活動拠点は、各カウンターパートが配置される場所となる。

リーダー及び業務調整：農牧省（農牧省経済流通局）

青果物集出荷システム：農牧省（農牧省経済流通局のSEM）

情報提供システム：農牧省（農牧省経済流通局のSIMA）

卸売市場運営：アスンシオン市食品流通管理局（DAMA）

リーダーが専門分野を兼務する場合は、流通局長がC/Pのため、農牧省とサンロレンソDAMAの両サイトで活動することとなる。また、現在SEMは農牧省内にあり、サンロレンソに施設が拡充されれば移転する予定である。

しかし、市場における正確な情報収集システムを確保することが各分野の活動の基本的な前提となるため、当局アバストを活動の中心とし、前回のプロジェクトで使用した部屋をそのまま利用する。そして、青果物集出荷システム、情報提供システム分野は情報収集システムができるに従い、サンロレンソに活動拠点を移すこととなる。

3. 普及局との連携

農牧省における専門家のC/Pは経済流通局であるが、農協等の具体的な指導はSEMを通じて普及局と連携しつつ行うこととなる。普及局は全国に約160カ所の事務所を持つ組織であり、

プラスグァライ、ラ・コルメナにも事務所がある。本プロジェクトにおいては、普及局は直接のC/Pではないが、合同委員会のメンバーでもあり、特に「青果物集出荷システム」の分野は、普及局との連携が、農協の協力を得て成果を出すための重要な点である。

しかし、ラ・コルメナ普及事務所は、農協、農民を指導できるか現状の活動からは不明確な点もあり、プロジェクト実施にあつては、SEM、普及局と十分調整する必要がある。

4. 農協、JOCV（協力隊）との連携

青果物の流通改善のモデル地区として、コルネル・オビエドとラ・コルメナがあるが、オビエドは信用組合から、昨年末農協への転換を図ったばかりである。農協本部も新築中であり意欲は伺えたが、彼らは農協育成全体への協力を望んでおり、今回のプロジェクトの範囲を越えるところもあった。今後は、短期専門家で対応可能な分野を除き、協力範囲を明確にする必要がある。

プラスグァライはJOCVがチーム派遣をしている地区であり、現在は、業者に約25%もの手数料を取られているといわれ、流通改善による取入の増加を地域農民は非常に期待している。本地区は将来農協の設立を目指し、オビエド農協の農協研修を受け人材の育成を図っている。なお、プラスグァライはオビエド農協の1地区であり、協力の対象地区として可能であるため、隊員等と十分検討すべきである。

5. 供与機材

プロジェクトは農牧省とアスンシオン市の両者の協力で成り立つが、両者への機材の配分計画は、基本的に専門家が行う必要がある。また、市場において協力者となる日系中央会等へもDAMAへ供与する機材のうちから、特段の配慮をする必要がある。

6. 協力卸の選択等

信頼される市場にするためには、日系中央会の他にも協力が得られる卸、小売業者を選定する必要がある。DAMA関係者は、大手の中から選択が十分可能であるとしているが、日系関係者は「大手」の把握すらできていないのでは、と疑問視する意見もある。いずれにしても、当面、専門家は現在の市場の把握が重要となり、早朝からの取引の現状を十分把握することが不可欠である。

7. 料金改訂等

昨年の市場料金の改訂は、中央銀行のインフレ率45%に連動すべきところ、30%の値上げにとどめている。当初、市場に青果物を集めるために、光熱水料を無料にしたり、利用料金を低く設定したことから、市場内には中小の小売等も多く、市当局に直接訴える行動に出ることもあり、急激な料金の改訂は困難であると、DAMA関係者は言う。

プロジェクトでは信頼できる情報を得るために、帳票の改善、報告の義務化等の案が出されている。ところが、この改訂により市場利用者が恐れている増税、料金の引き上げにつながる

と誤解されると、正確な報告が得られないばかりか協力も得られなくなる恐れがある。事前調査団、長期調査員の報告の中で、市場の使用料金の改訂により、インフラの整備を進める等の提案がなされており、その必要性は理解できるものの、市場の収支を明確にし、慎重に検討を重ね、十分に市場関係者への説明を経て対応すべきである。

8. ローカルコスト

プロジェクト運営にあたっては、農牧省とアスンシオン市の双方のローカルコスト負担の範囲を明確にする必要がある。

また、各農協、市場での協力関係者への供与機材の維持管理体制の明確化が必要である。

付 属 資 料

1. 討議議事録 (R/D)
2. 暫定実施計画 (T. S. I.)
3. ミニッツ
4. 団長レター
5. 農牧省技術官房局長からのプロジェクトに係る要望書
6. 農牧省 (DCEA、SEAG) 及びアスンシオン市 (DAMA) 間で結ばれたプロジェクト運営に係る協定書
7. SEM、SIMAの機能及び役割 (関連機関を含む)
8. 青果物流通改善計画の流れ図
9. C/Pリスト

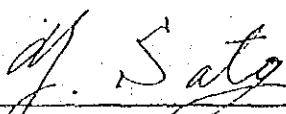
RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE
REPUBLIC OF PARAGUAY ON TECHNICAL COOPERATION FOR
THE MARKETING IMPROVEMENT PROJECT ON VEGETABLES
AND FRUITS IN THE REPUBLIC OF PARAGUAY

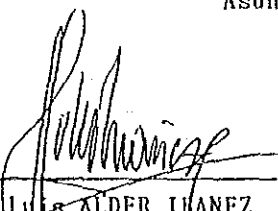
The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yukiei Sato, visited the Republic of Paraguay from February 23 to March 6 for the purpose of working out the details of a technical cooperation program for the Marketing Improvement Project on Vegetables and Fruits in the Republic of Paraguay (hereinafter referred to as "the Project").

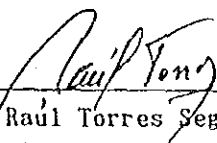
During its stay in the Republic of Paraguay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Paraguayan authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Project.

As a result of the discussions and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Paraguay signed in Asuncion on February 8, 1979 (hereinafter referred to as "the Agreement"), both parties agreed to recommend to their respective governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Asuncion, March 6, 1991


Mr. Yukiei Sato
Leader,
Implementation Survey Team
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY


José Luis ALDER IBANEZ
Cnel. D.E.M. Ing. Civ. y Mil.
Intendant,
ASUNCION MUNICIPALITY


Dr. Raúl Torres Segovia
Minister,
MINISTRY OF AGRICULTURE
AND LIVESTOCK
THE REPUBLIC OF PARAGUAY

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

The Government of Japan and the Government of the Republic of Paraguay will cooperate with each other in implementing the Project based on the Master Plan in I of the Annex.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provision of Article II of the Agreement, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts listed in II of the Annex. The provisions of Article V, VI, VII and VIII of the Agreement will apply to the above-mentioned experts.

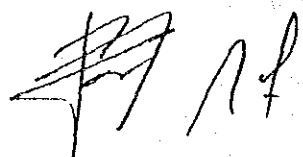
2. PROVISION OF EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such equipment, machinery and other materials (hereinafter referred to as "the equipment") as listed in III of the Annex. The provisions of Article IX of the Agreement will apply to the equipment.

3. TRAINING OF PARAGUAYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will accept and train the Paraguayan counterpart personnel in Japan. The provision of Article IV of the Agreement will apply to the personnel.

g 5



III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PARAGUAY

In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Paraguay, the Government of the Republic of Paraguay will take, at its own expense, the following measures.

1. PARAGUAYAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

In accordance with the provision of Article V-1-(b) of the Agreement, the Government of the Republic of Paraguay will secure the services of qualified Paraguayan counterparts and administrative personnel listed in IV of the Annex.

2. PROVISION OF LAND, BUILDINGS AND INCIDENTAL FACILITIES

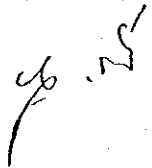
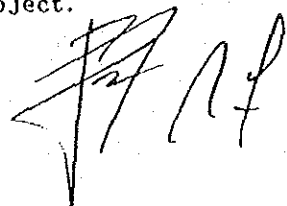
In accordance with the provision of Article V-1-(a) of the Agreement, the Government of the Republic of Paraguay will provide such land, buildings and incidental facilities as listed in V of the Annex.

3. SUPPLY AND REPLACEMENT OF EQUIPMENT AND MACHINERY

The Government of the Republic of Paraguay will supply and/or replace equipment, machinery, vehicles, instruments, tools, spare parts and other materials necessary for the implementation of the Project except for the equipment referred to in II.2. above.

4. ALL RUNNING EXPENSES

The Government of the Republic of Paraguay will meet all running expenses necessary for the implementation of the Project.



IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

Administration of the Project will be as follows:

1. DIRECTOR OF TECHNICAL CABINET, MAG.

The Director of Technical Cabinet, Ministry of Agriculture and Livestock (hereinafter referred to as "MAG") will bear overall responsibility for the implementation of the Project.

2. DIRECTOR OF AGRICULTURAL ECONOMICS AND MARKETING, MAG.

The Director of Agricultural Economics and Marketing, MAG, will be responsible, as the Head of the Project, for the administrative and managerial matters related to the Project.

3. CONTRIBUTION OF JAPANESE EXPERTS

(1) The Japanese Team Leader will provide necessary recommendations and advice to the Head of the Project on the technical and administrative matters concerning the implementation of the Project.

(2) The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Paraguayan counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.

4. JOINT COMMITTEE

For effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be established with the functions and composition as described in VI of the Annex.

5. ORGANIZATION CHART

The Project will be administrated in accordance with the organization chart in VII of the Annex.

af . S

[Handwritten signature]

V. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

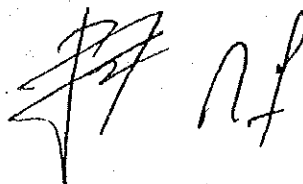
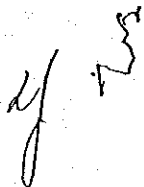
Claims against Japanese experts will be settled in accordance with the provision of Article VII of the Agreement.

VI. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two governments on any major issues arising from, or in connection with this document.

VII. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project will be five (5) years beginning on March 6, 1991.

A handwritten signature in black ink, consisting of stylized, overlapping letters and flourishes.A handwritten signature in black ink, consisting of stylized, overlapping letters and flourishes.

A N N E X

I . MASTER PLAN

1 . OBJECTIVES OF THE PROJECT

The objectives of the Project are to organize the marketing system, being taken as a leading part by the Asuncion Central Food Wholesale Market, for collecting, grading, packing and shipping vegetables and fruits based on quality standards and to improve quality management of production and packing, thereby contributing to the promotion of agricultural productive activities in the Republic of Paraguay.

2 . OBJECTIVES OF THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION

The objectives of the Japanese Technical Cooperation to the Project are to provide the Paraguayan counterpart personnel listed in IV of the Annex with technical guidance and advice to facilitate the smooth implementation of the Project.

3 . ACTIVITIES OF THE PROJECT

In order to attain the objectives mentioned in 1. above, the following cooperation activities will be implemented.

- (1) to organize and manage the marketing system for collecting and shipping vegetables and fruits between the agricultural cooperatives and the Asuncion Central Food Wholesale Market.
- (2) to equip machinery necessary for establishment of the collecting and shipping system for vegetables and fruits and to operate and maintain them.
- (3) to diffuse quality and packaging standards for vegetables and fruits.
- (4) to organize and manage information communications system led by the Vegetables and Fruits Marketing Improvement Center, and
- (5) to improve administration capability of the vegetables and fruits field in the Asuncion Central Food Wholesale Market.

dl. S



II. LIST OF JAPANESE EXPERTS

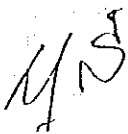
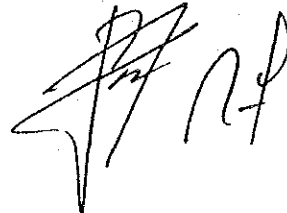
1. Team Leader
2. Coordinator
3. Long-term experts in the following fields
 - (1) Collecting and shipping system for vegetables and fruits
 - (2) Market management
 - (3) Information communication system

Note:

- 1) Team Leader will be assigned among the long-term experts in the fields mentioned above when necessity arises.
- 2) For the purpose of smooth implementation of the Project, short-term experts in the fields mentioned above and in other related fields may be dispatched when necessity arises.

III. LIST OF EQUIPMENT

1. Equipment, machinery, instruments, tools and other materials for the Vegetables and Fruits Marketing Improvement Center and the Asuncion Central Food Wholesale Market
2. Equipment, machinery, instruments, tools, and other materials for collecting and shipping vegetables and fruits
3. Vehicles
4. Books and other printed materials
5. Other necessary equipment and materials related to the Project.

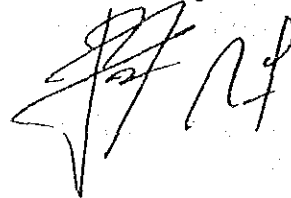


IV. LIST OF PARAGUAYAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Head of the Project
(Director of the Agricultural Economics and Marketing)
2. Counterpart personnel in the following fields
 - (1) Collecting and shipping system for vegetables and fruits
 - (2) Market management
 - (3) Information communication system
 - (4) Other fields connected with the Project mutually agreed upon
3. Administrative personnel:
 - (1) Administrative officers
 - (2) Accounting officers
 - (3) Secretaries
 - (4) Other necessary personnel mutually agreed upon

V. LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Vegetables and Fruits Marketing Improvement Center
2. Office space and necessary facilities for the Japanese Team Leader, Coordinator and Experts
3. Rooms and space necessary for installation and storage of the equipment
4. Other land, buildings and facilities mutually agreed upon



M-S

VI. THE JOINT COMMITTEE

1. Functions

The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievement of the Tentative Schedule of Implementation under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To formulate the Annual Work Plan of the Project; and
- (3) To review and exchange views on major issues arising from, or in connection with, the technical cooperation program.

2. Composition

(1) Chairman:

Director of Technical Cabinet, MAG.

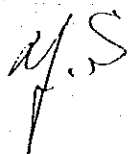
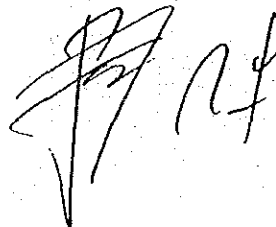
(2) Paraguayan Side:

- 1) Director, Agricultural Economics and Marketing Directorate, MAG.
- 2) Director, Agriculture and Livestock Extension Service Directorate, MAG.
- 3) Director, Asuncion Central Food Wholesale Market Directorate, Asuncion Municipality.
- 4) Other personnel appointed by the chairman

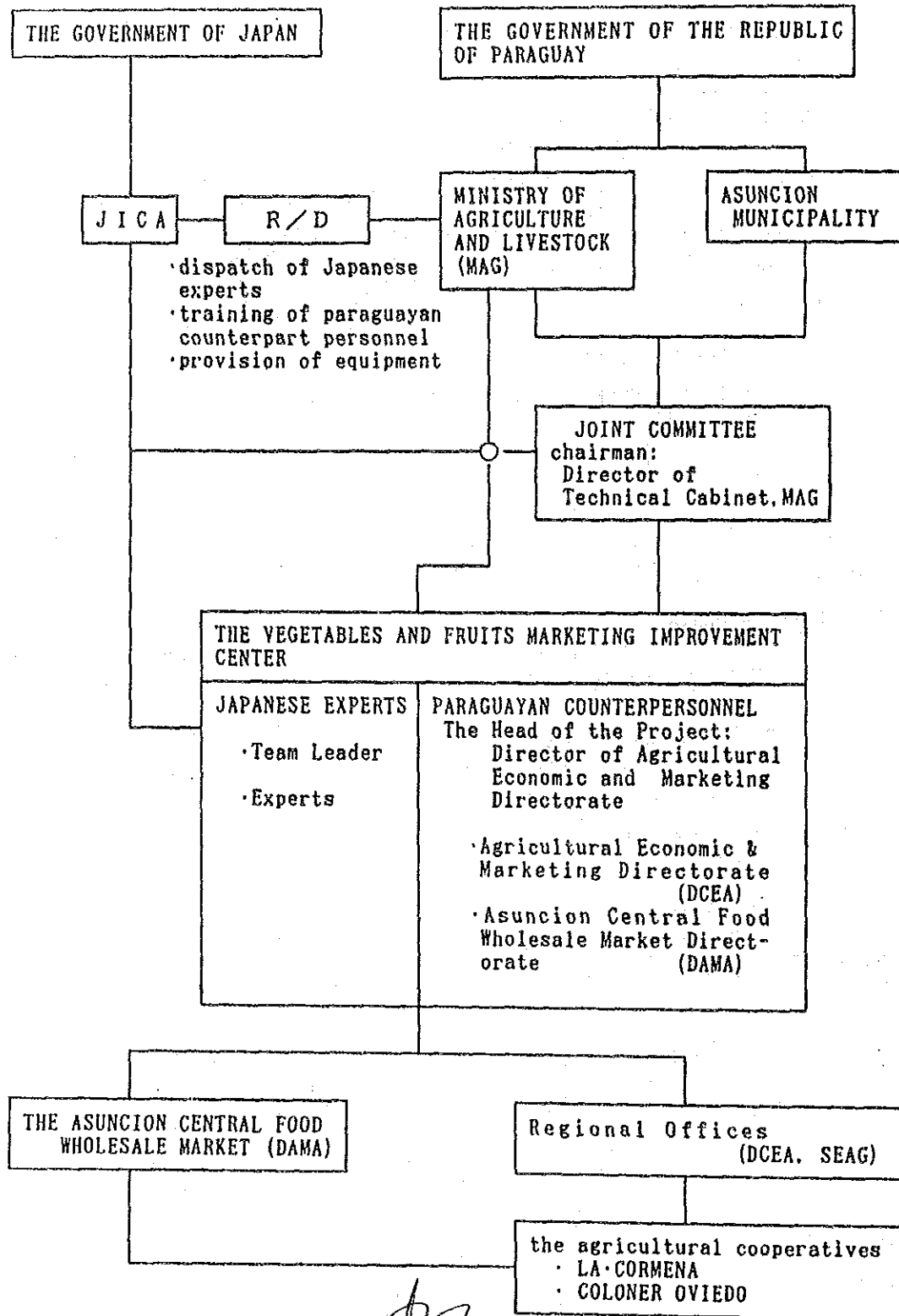
(3) Japanese Side

- 1) Team Leader
- 2) Coordinator
- 3) Experts appointed by Team Leader, if necessary.
- 4) Representative(s) of JICA Paraguay office.
- 5) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary.

Note: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Committee as observer(s).



VII. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT



Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

2. 暫定実施計画 (T.S.I)

TENTAT. SCHEDULE OF IMPLEMENTAION
ON
THE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE MARKETING IMPROVEMENT PROJECT ON VEGETABLES
AND FRUITS IN THE REPUBLIC OF PARAGUAY

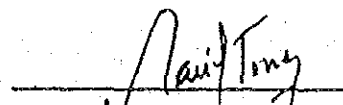
The Japanese Implementation Survey Team and the Paraguayan authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of technical cooperation for the Marketing Improvement Project on Vegetables and Fruits in the Republic of Paraguay (hereinafter referred to as "the Project") as attached hereto.

These have been formulated in connection with I of the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Survey Team and the Paraguayan authorities concerned with the Project, on condition that the necessary budget are allocated for the implementation of the Project, and are subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project.

Asuncion, March 6, 1991


Mr. Yukiei Sato

Leader,
Implementation Survey Team
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY


Dr. Raúl Torres Segovia

Minister,
MINISTRY OF AGRICULTURE
AND LIVESTOCK
THE REPUBLIC OF PARAGUAY

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTAION

Cooperation activities

- 1 -

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Advice and guidance on organization and management of marketing system for collecting and shipping vegetables and fruits between the agricultural co-operatives and the Asuncion Central Food Wholesale Market.						
1) Data arrangement of inflow and outflow of Market						
2) Forming cooperation system for collecting and shipping						
3) Planning cooperation system for collecting and shipping						
4) Administration of cooperation system for collecting and shipping						
2. Technical guidance to equip machinery for establishment of the collecting and shipping system for vegetables and fruits and to operate and maintain them.						
1) Planning necessary facilities and machinery for collecting and shipping						
2) Technology of maintenance, operation and management of necessary facilities and machinery for collecting and shipping system						

J. S.

AP

Item	Year	1st.	2nd	3rd.	4th.	5th.
3. Advice and guidance on diffusion of quality and packing standards for vegetables and fruits.						
1) Quality standards						
2) Packing standards						
3) Methodology of diffusion for quality and packing standards						
4. Advice and guidance on organization and management of an information communication system led by the Vegetables and Fruits Marketing Improvement Center.						
1) Planning effective system of giving information						
2) Utilization technique of information system						
3) Data collecting and analysis technique						
5. Advice and guidance on improvement of administration capability of the vegetables and fruits field in the Asuncion Central Food Wholesale Market						
1) Improvement of monitoring method of collecting amount and study of the monitoring method of total marketing volume and sales amount						
2) Study for data of dealing index						
3) Improvement of data process system						
4) Improvement of sales system						
5) Arrangement of management system						

Y.S

AF

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Dispatch of experts						
1) Long-term assignment						
(1) Team Leader						
(2) Coordinator						
(3) Collecting and shipping system for vegetables and fruits						
(4) Market management						
(5) Information communication system						
2) Short-term assignment		Experts will be dispatched when necessity arises				
2. Acceptance of Paraguayan Counterpart personnel in Japan		(About 2 to 4 personnel a year)				
3. Provision of equipment, machinery and materials						
4. Dispatchment of missions		— — — — — Missions will be dispatched when necessity arises				

MS

AF

Item	Year	1st.	2nd.	3rd.	4th.	5th.
1. Assignment of counterpart and administrative personnel						
1) Head of the Project						
2) Counterpart personnel in following fields :						
(1) Collecting and shipping system for vegetables and fruits						
(2) Market management						
(3) Information communication system						
(4) Other fields connected with the Project		Counterpart personnel will be assigned when necessity arises				
3) Administrative personnel						
(1) Administrative officers						
(2) Accounting officers						
(3) Secretaries						
(4) Other necessary personnel mutually agreed upon when necessity arises						
2. Provision of land, buildings and other necessary facilities						
3. Allocation of necessary budget						


M.S. *A.P.*

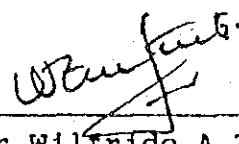
MINUTA ENTRE LA MISION DE ESTUDIO PARA LA
IMPLEMENTACION POR PARTE DEL JAPON Y EL MINISTERIO
DE AGRICULTURA Y GANADERIA POR PARTE PARAGUAYA,
REFERENTE A LA COOPERACION TECNICA PARA LA
IMPLEMENTACION DEL PROYECTO DE MEJORAMIENTO DE LA
COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS
EN EL PARAGUAY

La cooperación técnica para el Proyecto de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas se ha puesto en ejecución el 6 de marzo de 1.991, en base al Acta de Discusión (R/D) firmada en dicha fecha.

Entre la parte japonesa y la paraguaya se ha realizado la confirmación de los puntos referentes a las disposiciones necesarias para la fluida implementación del Proyecto, cuyos términos son indicados en el documento anexo.

Asunción, 6 de Marzo de 1.991


Sr. Yukiei Sato
Líder,
Misión de Estudio
para la Implementación
del Proyecto
AGENCIA DE COOPERACION
INTERNACIONAL DEL JAPON


Ing. Agr. Wilfrido A. Zárate G.
Director,
Dirección de Comercialización
y Economía Agropecuaria
MINISTERIO DE AGRICULTURA Y
GANADERIA

1. Asuntos confirmados

- (1) El objetivo de la cooperación técnica de parte del Japón en el presente Proyecto consiste en enviar los expertos japoneses para el Proyecto de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas a ser implementado en el Paraguay, a fin de realizar los asesoramientos de carácter técnico y mejorar las condiciones para que dichos asesoramientos se realicen en forma eficiente (Recepción de becarios para entrenamiento, donación de equipos, etc.)
- (2) El "Centro de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas" mencionado en el presente Proyecto es un órgano para la comunicación, coordinación y deliberación, cuya finalidad consiste en impulsar positivamente los objetivos del Proyecto; y estará encabezado por el Director de la Dirección de Comercialización y Economía Agropecuaria e integrada por los funcionarios de las bases de operación relacionadas con el mejoramiento de la comercialización de frutas y hortalizas como el SIMA y el SEM de la Dirección de Comercialización y Economía Agropecuaria y la DAMA de la Municipalidad de Asunción.
- (3) El Paraguay equipará las instalaciones necesarias en las siguientes bases de operación de los expertos.

Dentro de la Dirección de Comercialización y Economía Agropecuaria
San Lorenzo (Oficina del SIMA)
DAMA

- (4) La base de operación de cada experto será el lugar donde estarán dispuestos los respectivos técnicos de contraparte.

Líder y Coordinador	DCEA.
Sistema de acopio y despacho de frutas y hortalizas	DCEA (SEM)
Sistema de Informaciones	DCEA (SIMA)
Administración del Mercado de Abasto	DAMA

Empero, teniendo en cuenta que la consolidación del sistema de recolección de informaciones precisas del mercado será una condición previa básica para las actividades de las distintas especialidades, por de pronto las actividades se realizarán principalmente en el Mercado de Abasto.

- (5) Con respecto a los técnicos de contraparte, se dispondrá de dos o más por cada experto, en forma permanente y perdurable; además se especificará claramente el responsable de la comunicación y coordinación de cada institución pertinente.
- (6) Con relación a los equipos de donación, se determinará claramente los responsables de la administración y los lugares a ser distribuidos; y se hará un buen mantenimiento y administración de los mismos.

ef. S *WR*

- (7) Con relación a los costos locales, se asegurará lo necesario para la normal y fluida implementación del Proyecto; y se establecerán claramente las partes que corresponden a cada institución. En especial, se tendrán en cuenta suficientemente los costos de combustible de los vehículos, uso de energía eléctrica y otros.
 - (8) El SEM ejecutará los trabajos del Proyecto en cooperación con el SEAG.
 - (9) Con respecto a la cámara frigorífica de la DAMA, se podrá acceder al uso en forma prioritaria, cuando la misma sea necesaria para la ejecución del Proyecto.
2. Correspondencia de la Misión de Estudio a la solicitud hecha por el Gobierno del Paraguay

- (1) Se ha recibido del Paraguay la solicitud de incluir en el R/D, entre las medidas que deberán ser tomadas por el lado del Japón, la disposición especial referente a los edificios e instalaciones; pero debido a que no es posible determinar con claridad en la actualidad la necesidad de los mismos, para la transferencia tecnológica, dicha medida no ha sido incluida.

Sin embargo, con respecto a la instalación para la especialidad de acopio y despacho, será adicionado en el R/D siempre que se determine clara y concretamente su necesidad, durante el proceso de transferencia tecnológica que se realizará después de la llegada de los expertos, y cuando se tenga una perspectiva cierta de asegurar el presupuesto por la parte japonesa.

- (2) Así como se presenta en el documento adjunto, el Paraguay ha solicitado el entrenamiento de los técnicos de contraparte en los países vecinos. Ante esto, se ha transmitido que en la actualidad es imposible la realización del entrenamiento en un tercer país, debido a que no existen proyectos similares en los países limítrofes. No obstante, se informará al Gobierno del Japón sobre la presentación de la solicitud sobre este asunto.

W.E.

W.S.

(3. 仮訳)

パラグアイ青果物流通改善計画における技術協力に関する
日本側実施協議調査団とパラグアイ側農牧省との間の覚書

(M/M)

1991年3月6日に署名された討議議事録(R/D)に基づき、青果物流通改善計画における技術協力は、R/D署名日よりその活動を実施した。

日本側及びパラグアイ側双方により、プロジェクトの円滑な実施のための必要な措置について、付属文書のとおり確認がなされた。

Asuncion, March 6, 1991

団長 佐藤幸衛
実施協議調査団
国際協力事業団

Ing. Agr. Wilfido A. Zarate G.
農牧省農業経済流通局 局長

1. 確認事項

(1) 本プロジェクトにおける日本側の技術協力の目的は、「バ」国で実施される青果物流通改善計画に対し、日本人専門家を派遣し、技術的な指導助言を行い、その指導助言が効果的となるための条件整備（研修員の受け入れ、機材供与等）を行うことである。

(2) 本プロジェクトにおける「青果物流通改善センター」とは、農業経済流通局長を長した、農業経済流通局のSIMA、SEM、アスンシオン市のDAMA等、青果物流通改善に係る活動拠点のスタッフにより、プロジェクトの目的を効果的に推進するための連絡調整及び協議の機関である。

(3) 「バ」国は、専門家の以下の活動拠点に、必要な施設を整備する。

農牧省農業経済流通局内

サンロレンソ（SIMA事務所内）

DAMA

(4) 各専門家の活動拠点は、各カウンターパートが配置される場所とする。

リーダー及び業務調整 DCEA

青果物集出荷システム DCEA（SEM）

情報提供システム DCEA（SIMA）

卸売市場運営 DAMA

但し、市場における正確な情報収集システムを確保することが、各分野の活動の基本的な前提となるため、当面アバストを活動の中心とする。

(5) カウンターパートについては、各専門家に対し複数名を永続的に配置すると共に、各関係機関の連絡調整役を明確にする。

- (6) 機材供与については、機材の管理責任及び配置場所を明確にし、良好に維持管理を行う。
- (7) ローカルコストについては、プロジェクトの円滑な実施のために必要なローカルコストを確保し、各機関の分担を明確にする。
- (8) SEMはSEAGと協力し、プロジェクトの活動を行う。
- (9) DAMAにおける冷蔵施設については、プロジェクト遂行に必要な場合には、優先的に利用できる。

2. 「バ」国要請に対する調査団の対応

- (1) R/D中の、日本側が取るべき措置として、「バ」国より建物、施設の整備に関する特別措置を追加するよう要請があったが、現在技術移転を進める上で、必要性が不明確であるため、記載しないこととした。

但し、集出荷分野の施設整備については、専門家派遣後の技術移転の過程において、具体的にその施設の必要性が明確となり、かつ、日本側の予算確保の見通しがついた時点で、特別措置として、R/Dに追記することとする。

- (2) 「バ」国より別添のとおり、近隣国でのカウンターパート研修の要請があった。現在は、近隣国において同様なプロジェクトがないことから、第3国研修の実施は不可能である旨、伝えた。

但し、本件については要請があった旨、日本に持ち帰ることとする。

Asunción, 6 de marzo de 1.991

Excelentísimo Señor

Ministro de Agricultura y Ganadería
de la República del Paraguay
Dr. Raúl Torres Segovia

E. S. D.

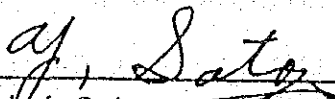
Tengo el honor de dirigirme a V.E. a los efectos de informarle que la Misión de Estudio para la Implementación (En adelante denominada "Misión") ha sido enviada al Paraguay desde el 24 de febrero hasta el 7 de marzo de 1.991, para formular el plan detallado de cooperación técnica para el Proyecto de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas (En adelante denominado "Proyecto").

La Misión ha mantenido una serie de discusiones con las autoridades pertinentes de la República del Paraguay; y como resultado de las mismas se ha arribado a la firma del Acta de Discusión por las partes, en fecha 6 de marzo de 1.991.

Además de los aspectos contemplados en el Acta de Discusión, le informamos en esta ocasión sobre las medidas que deberán ser tomadas prontamente por su país para la fluida iniciación y la eficiente administración del Proyecto.

Hago propicia la ocasión para expresar mi sincera gratitud a V.E. y a las demás autoridades, por las cooperaciones recibidas.

Me es grato saludarle muy atentamente.


Yukiei Sato, Líder
Misión de Estudio para
la Implementación
AGENCIA DE COOPERACION
INTERNACIONAL DEL JAPON

1. Sobre la administración del Proyecto

El presente Proyecto requiere la cooperación entre el Ministerio de Agricultura y Ganadería y la Municipalidad de Asunción; por lo que solicitamos una suficiente atención en la coordinación de las acciones entre ambas instituciones, en la implementación del mismo.

2. Sobre la segura provisión de oficinas para los expertos

El presente Proyecto se inicia el 6 de marzo del corriente año, en base al Acta de Discusión firmada en esta ocasión; pero la parte japonesa está considerando el envío de los expertos de largo periodo a partir del mes de mayo.

Por la razón mencionada, solicitamos a la parte paraguaya la preparación de las oficinas para los expertos, antes de la venida de los mismos, en cada una de las instituciones pertinentes.

3. Sobre el mejoramiento del edificio existente en San Lorenzo.

En las discusiones mantenidas en esta ocasión, se ha confirmado que la recopilación de las informaciones concernientes al Proyecto quedará finalmente a cargo del SIMA. Por tanto, de aquí en adelante este edificio se constituirá en una importante base de acción.

Sin embargo, el espacio físico que posee el actual edificio es reducido para ser usado en la ejecución del Proyecto; presentado además el inconveniente de contar con instalaciones telefónicas y eléctricas deficientes.

Por esa razón, deseamos que sean tomadas las medidas necesarias que permita impulsar fluidamente la realización del presente Proyecto.

4. Sobre los técnicos de contraparte

Los técnicos de contraparte son infaltables para la realización de la transferencia tecnológica; razón por la cual solicitamos que sean designados más de dos técnicos de contraparte por cada experto, y en forma permanente.

5. Sobre la disposición presupuestaria

Para ir implementando el Proyecto en forma fluida en lo sucesivo, serán imprescindibles los costos locales, por lo que solicitamos una especial atención al respecto.

6. Sobre la solicitud formal

Para iniciar el proyecto de acuerdo al programa establecido, esperamos que los trámites concernientes a la solicitud formal (Formularios A1 al A4) sean efectuados en forma rápida.

(4. 仮訳)

1991年3月6日

パラグアイ国 農牧省
ラウル・トレス・セホビア大臣閣下

Dear Sir,

私ども、実施協議調査団（以下「調査団」という）は、1991年2月24日から3月7日までの予定で、青果物流通改善計画（以下「プロジェクト」という）の技術協力の詳細計画を策定するため、パラグアイ共和国に派遣されました。

調査団はパラグアイ共和国政府関係者と一連の協議を行い、その結果として双方は1991年3月6日に討議議事録に署名しました。

討議議事録に加えて、ここにプロジェクトの円滑な開始及び効率的運営のために、貴国が早速に措置すべき事項について報告致します。

本調査の実施に当たり、貴職及び関係各位から寄せられた協力に対し心から感謝します。

Sincerely Yours

国際協力事業団
実施協議調査団
団長 佐藤幸衛

1. プロジェクトの運営について

本プロジェクトは農牧省とアスンシオン市との連携が必要となるため、実施にあたっては、両者の調整に十分ご配慮をお願いします。

2. 専門家事務室の確保について

今回のR/D署名に基づき、3月6日付けでこのプロジェクトは開始されますが、日本側としては5月頃から各専門家の長期派遣を開始したいと考えております。

つきましては、パラグアイ側に各専門家が派遣されるまでに、専門家用の事務室をそれぞれの配属先に準備して頂きますようお願い致します。

3. サンロレンソ施設の整備について

この度の協議で、プロジェクトに係る情報の蓄積は、最終的にはS.I.M.A.が行うことが確認されました。本施設は、今後重要な拠点となります。

しかしながら、現施設はプロジェクト遂行に当りスペースが狭く、電話、電気等の設備の不備が見受けられる等の問題があります。

つきましては、本プロジェクトの円滑な推進のため必要な措置を講じて頂くよう希望致します。

4. カウンターパートについて

技術移転においては、カウンターパートが不可欠となるため各専門家に対し、複数名を永続的に配置されますようお願い致します。

5. 予算措置について

今後、プロジェクトの円滑な遂行のためには、ローカルコストが不可欠なため、格段のご配慮をお願い致します。

6. 正式要請書について

プロジェクトを予定通り開始する為に、正式要請書（A1からA4フォーム）等の手続きを、速やかに行って頂くようお願い致します。

5. 農牧省技術官房局長からのプロジェクトに係る要望書



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA

Asunción, 5 de marzo de 1991

Señor

YUKIEI SATO, Líder

Misión de Estudio para la Implementación del Proyecto
Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas
Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA)
Asunción, Paraguay

Tengo el agrado de dirigirme a usted, a los efectos de comunicarle las sugerencias que han surgido en el transcurso de las discusiones mantenidas con la presente Misión, sobre diversos puntos concernientes a la implementación del Proyecto de Mejoramiento de la Comercialización de Frutas y Hortalizas.

A tal efecto, presento a su consideración y a quienes corresponda los siguientes puntos:

BECA: El sistema de comercialización en los países vecinos (Argentina y Brasil) es considerado como modelo bueno para ser adaptado en nuestro país, por lo tanto sería ideal que la capacitación técnica del personal de contraparte sea ejecutada por lo menos en un 50% en los países limítrofes.

EVALUACION: Sería conveniente que la realización de la evaluación de las actividades al término de cada año de ejecución que se tiene prevista con el envío de una Misión, se realice conjuntamente con la Unidad de Monitoreo y Evaluación del Gabinete Técnico. Los resultados se pondrían a consideración del Comité Conjunto; para que dicho Organismo determine los ajustes necesarios a ser implementados.

Sin otro particular, y esperando contar con su colaboración, hago propicia la ocasión para saludarle con mi mayor consideración.

ING. AGR. RONALDO E. DIETZE
DIRECTOR



(5. 仮訳)

青果物流通改善計画

実施協議調査団

団長 佐藤幸衛 殿

調査団と「バ」国機関の間で「青果物流通改善計画」の実施に係る事項について協議を行いました。

本計画実施に関して考慮していただきたい事項として、次の通りです。

1. 研修

隣国（アルゼンティン、ブラジル）における流通システムは、「バ」国にとってモデルとして適切と思われるので、C/Pの技術研修の少なくとも50%はこれら隣国において行なわれることが望ましい。

2. 評価

毎年の実績についての評価は、農牧省官房局の評価監理課（Unidad de Monitoreo y Evaluacion）とともになされることが望ましい。併せて、評価の結果が今後の実施に反映されるよう、評価結果を合同委員会の場で検討願います。

農牧省 官房技術局長

6. 農牧省(DCEA,SEAG)及びアスンシオン市(DAMA)間で結ばれた

プロジェクト運営に係る協定書



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
GABINETE TECNICO

AYUDA MEMORIA DE ENTENDIMIENTO ENTRE LOS EJECUTORES DE LOS
COMPONENTES DEL PROYECTO DE MEJORAMIENTO DE COMERCIALIZACION DE
FRUTAS Y HORTALIZAS
(MAG/DCEA-SEAG ; MUNIC. DE ASUNCION/DAMA)

La responsabilidad de la coordinación del Proyecto recaerá en un representante del MAG y un representante de la Municipalidad de Asunción.

Actividades a ser realizadas por :

D C E A

1. Asistencia técnica en clasificación y padronización de los productos a ser ofertados;
2. Recopilación de datos de volúmenes y precios de productos en los distintos mercados del país;
3. Provisión de las informaciones recopiladas a los productores con la Cooperación del Servicio de Extensión Agrícola y Ganadera y/o Cooperativas;
4. Establecimiento de un sistema de acopio, almacenamiento, procesamiento, clasificación y transporte adecuados para hortalizas y frutas;
5. Búsqueda de mercados alternativos, disminución de costos pérdidas en la comercialización, factibilidad de almacenamiento e/o industrialización.

S E A G

1. Fomento de organizaciones de productores;
2. Ejecución de programas de asistencia técnica para la producción de rubros horti-frutícolas.
3. Divulgación de informaciones de mercadeo proporcionadas por el DCEA.



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
GABINETE TECNICO

D A M A

1. Asistencia técnica en la implementación de un mejor sistema de clasificación, uso de embalajes, normalización y transporte de productos;
2. Intercambio de Información de mercadeo con las bases operantes y las Direcciones del MAG;
3. Identificación de alternativas de mercados interurbanos, mejores sistemas de distribución, optimización de costos y reducción de pérdidas en el proceso de comercialización, factibilidad de almacenamiento e/o industrialización;
4. Apoyo en el establecimiento de redes de almacenamiento, procesamiento, clasificación y transporte adecuados para frutas y hortalizas.

Ing. Agr. WILFRIDO ZARATE
Director
D.C.E.A.

Dr. PATROCINIO ALONSO
Director
S.E.A.G

Ing. Agr. FRANCISCO J. SPECINI
Director
D.A.M.A.

Asunción, 4 de Marzo de 1991.

7. SEM, SIMAの機能及び役割 (関連機関を含む)



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA

A) SERVICIO DE EXTENSION EN MERCADEO (S.E.M.)

OBJETIVO DEL SERVICIO

Apoyar a los pequeños agricultores en el desarrollo e implementación de estrategias de comercialización que les permita, vía la ampliación de las opciones productivas y el desarrollo de poder negociador, mejorar sustancialmente sus niveles de ingreso.

FUNCIONES DEL SERVICIO

- a. Divulgar y difundir entre los productores las oportunidades que presenta el mercado a fin de orientar la producción hacia aquellas alternativas que redunden en mejoramiento de los niveles de ingreso de las explotaciones.
- b. Promover y fomentar la adopción de estrategias de comercialización que permitan el aprovechamiento eficiente de las oportunidades de mercado entre los productores agrícolas.
- c. Ayudar a incrementar el poder negociador del pequeño agricultor por medio de fomento de acciones mancomunadas.
- d. Apoyar la creación de organizaciones de productores para el mercadeo de sus productos.
- e. Brindar asistencia técnica sobre clasificación, empaque, almacenamiento y manejo de productos y establecer lineamientos para planificar la producción a nivel de finca de acuerdo a las condiciones futuras del mercado.

...//...



f. Facilitar las relaciones comerciales entre los productores y los mayoristas más progresistas e innovadores.

g. Proveer y administrar facilidades físicas tales como mercados en origen, ferias al agricultor, etc., con el fin de incrementar las opciones de venta de los productores y facilitar su acceso a los mercados terminales.

h. Desarrollar programas de entrenamiento y capacitación para agricultores sobre técnicas, instrumentos y estrategias de comercialización.

Para la implementación y puesta en marcha de este Programa y el adecuado desarrollo de la estrategia integral de comercialización requiere de los siguientes instrumentos de apoyo:

1. Servicio de Promoción de Mercados.
2. Sistemas de Normas de Clasificación y empaque y
3. Programa de Capacitación de Mercadeo.

El Servicio de Información de Mercados al Agricultor (SIMA), es un servicios de apoyo de la comercialización.

B) Servicio de Información de Mercados: (S.I.M.A.)

Esta es una unidad de apoyo que tiene un ámbito y que presta un servicio más amplio. Los objetivos de la unidad que se listan a continuación no son, por tanto, los de todo del servicio sino la parte de apoyo que especifica-

..//..



mente corresponde al Programa. De acuerdo a la estrategia operacional descrita los objetivos del Servicio de Información de Mercados son:

- a) Proporcionar información sobre las condiciones de precios y mercados a los comités y/o cooperativas.
- b) Comunicar diariamente a los comités y/o cooperativas las cotizaciones de precios al mayor más frecuente de los productos que manejan, registrados en los más importantes mercados mayoristas ese día.
- c) Preparar boletines semanales y mensuales sobre las cotizaciones de precios y volúmenes comercializados de los productos en los distintos comités y/o cooperativas.
- d) Analizar y evaluar el efecto estabilizador que los comités y/o cooperativas pueden tener en las fluctuaciones de precios en el mercado.
- e) Preparar boletines diarios de los precios de venta de los productos de los comités y/o cooperativas y distribuirlos oportunamente al sector detallista.
- f) Colaborar con el Servicio de Promoción de Mercados en elaborar los pronósticos de producción y de precios de los productos hortofrutícolas.
- g) Proporcionar información al Programa sobre las coyunturas del mercado internacional, niveles de precios, políticas arancelarias, etc.



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA

4.

h) Calcular índices estacionales de precios diarios, semanales y mensuales y calcular el índice de riesgo aplicable a cada producto por los comités y/o cooperativas.

i) Proporcionar otra información adicional a los comités y/o cooperativas que pueda ser útil a los productores tales como precios de insumos, precios de productos de primera necesidad, etc.

2. Servicio de Promoción de Mercados:

Esta es la unidad más crucial para posibilitar la estrategia de comercialización hortofrutícola descrita. El objetivo general del Servicio de Promoción de Mercados es posibilitar el desarrollo de un canal directo de comercialización entre los comités y/o cooperativas de productos y el sector comercial detallista organizado y también - abrir nuevos mercados y ampliar la demanda específica de los productos de los comités y/o cooperativas en particular y la producción hortofrutícola en general. Dada la complejidad e importancia de esta unidad se listarán primero sus objetivos generales y después los objetivos de las tres unidades operativas que la integran a saber: Unidad de Pronóstico de Mercados, Unidad de Planificación y Unidad de Promoción y Ventas.

Los objetivos generales del Servicio de Promoción de Mercados son:

a) Anticipar la oferta y demanda futura de productos hortofrutícola en el mercado nacional para poder orientar la producción de los comités y/o cooperati-

...//...



vas hacia rubros más rentables.

b) Desarrollar canales directos de comercialización entre los comités y/o cooperativas y el comercio detallista organizado.

c) Ampliar y promocionar mercados para los productos de los comités y/o cooperativas.

d) Servir de agente mediador en las negociaciones entre los comités y/o cooperativas y el sector detallista organizado.

e) Planificar la operación de los comités y/o cooperativas en base a las oportunidades del mercado.

Los objetivos específicos de las Unidades de apoyo son: Unidad de Pronóstico de Mercados ayuda a cumplir el objetivo

a) Sus objetivos o funciones específicas son:

- Desarrollar la metodología para pronosticar producción y precios de los productos hortofrutícolas que maneja los comités y/o cooperativas.

- Elaborar los modelos de pronósticos de producción en base a las variables rezagadas más relevantes que afectan las variaciones de oferta y que sirvan para medir las expectativas, los recursos de producción y los costos de oportunidad.

- Elaborar los modelos de pronósticos de precios de mercado para los productos hortofrutícolas.

...//...



- Actualizar regularmente los modelos de pronóstico corrigiendo los parámetros estructurales con los nuevos datos aportados por el Servicio de Información de Mercados.
- Diseñar el sistema de computación adecuado para mecanizar los pronósticos de producción y precios.
- Calcular en base a los modelos los volúmenes y precios esperados en el mercado de los productos hortifrutícolas, para que puedan ser utilizados por la Unidad de Planificación.

Unidad de Planificación ayuda a cumplir el objetivo e).

Sus objetivos ó funciones específicas son:

- En base a los datos suministrados por la Unidad de Pronóstico de Mercados y a la información proporcionada por la Unidad de Promoción y Ventas calcular la producción por producto que se deben asignar a cada comité y/o cooperativa.
- Recibir los planes de entrega de producción de cada comité y/o cooperativa y tabularlo convenientemente.
- Preparar los planes de venta para la Unidad de Promoción y ventas en base a las fechas de entradas de productos, su origen, facilidades de almacenaje y conservación en origen y grado de perecibilidad del producto.

...//...



- Preparar una tabla de flujos de producto que sirva para controlar y regularizar el patrón de entrega de cada producto.
- Evaluar el grado de cumplimiento de entrega de producción de los comités y/o cooperativas.
- Determinar en base a costo de flete y concentración de la demanda los flujos de destino indicativos de los productos provenientes de los comités y/o cooperativas.

Unidad de Promoción y Ventas

- Buscar clientes para los productos de los Centros de Acopio.
- Promocionar y divulgar el funcionamiento, - propósitos y modus operandi del SEM entre el sector intermediario detallista.
- Formalizar contratos de suministro con el - sector detallista de acuerdo con el flujo de abastecimiento que indique la Unidad de Planificación.
- Orientar los envíos de producto de los comités y/o cooperativas hacia los mercados y clientes contactados.
- Fiscalizar el cumplimiento de los envíos, en los tiempos y condiciones acordados/ y formalizar las transacciones entre los comités y/o cooperativas y los clientes.

...//...



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA

8.

- Conducir un sondeo permanente de las condiciones del mercado y proveer información de primera mano de estas condiciones a la Unidad de Planificación con el fin de permitir la corrección de los pronósticos y el ajuste de la producción.
- Cooperar con el Programa de Distribución Detallista en promocionar la formación de Cadenas Voluntarias de Detallistas.
- Coordinar y administrar las Centrales de Distribución que permitan concentrar los pequeños pedidos del sector detallista.
- Obtener acuerdo con las autoridades municipales encargadas de los mercados libres y periféricos sobre el abastecimiento de productos hortofrutícolas.

A) SEM

サービスの目的

生産の選択性を拡大する流通計略の開発・実施と、農家の取引能力の増大及び所得水準の向上を達成するために、小農を支援する。

サービスの役割

- a. 生産農家に対して市場情報を公布、普及させ、農家が所得水準の向上に役立つ生産を選択するように導く。
- b. 生産農家が、取引機会を有効的に利用できるようにするための流通計略を奨励する。
- c. 協同取引の実施を奨励して、小農の取引能力を増大させる。
- d. 生産物流通のための農民組織の設立を支援する。
- e. 生産物の選別、包装、貯蔵、管理等について技術指導を行い、将来の市場状況に見合った計画的な生産を実施する為の基本方針を定める。
- f. 生産者と、発展的・革新的な卸売業者の間の流通上の関係を改善する。
- g. 生産地に於いて、生産農家の為の市、市場等の施設を設け、生産物の販売方法に選択性を与えると共に、末端市場へのアクセスを容易にする。
- h. 流通に係わる技術、手段、計略について、農家を訓練するためのプログラムを開発する。

このプログラムを実行して、流通に関する適切な全体的計略を実施するためには、次に示す支援手段が必要となる。

1. (削除している)
2. 流通促進サービス
3. 生産物の選別、包装規格のシステム
4. 取引訓練プログラム

S I M Aは流通支援サービスの一つである。

B) S I M A

一定の活動範囲を持つ支援部門であり、広範囲のサービスを提供する。従って、次にあげる目的は、このサービス全体のものではなく、プログラムの支援活動の一部だけである。前述した計略に従うと、S I M Aの目的は以下の通りとなる。

- a) 農協または他の農民組織（委員会）に価格等、市況に関する情報を提供する。
- b) 主な卸売り市場に於ける取扱い生産物の全体的な当日の卸売り価格を、毎日、農協または委員会に連絡する。
- c) 各農協の生産物取扱量、販売価格等について、週報、月報を作成する。
- d) 市場価格の変動に対して、農協・委員会が価格安定の上で及ぼす効果を解析、評価する。
- e) 農協・委員会の生産物の販売価格の日報を作成して、随時、小売業者に情報提供を行う。
- f) 流通促進サービスが実施する青果物の生産量、価格の予測に協力する。
- g) 国際市場の市況、価格、関税政策等に関する情報をプログラムに提供する。
- h) 毎日、週間、月間の価格指数をシーズン毎に算定し、農協・委員会の各生産物に適用できる、生産の危険度指数を算定する。
- i) その他、農協・委員会にとって有益な、生産資材や生活必需品の価格等の追加情報を提供する。

2. 流通促進サービス

既述した、青果物流通の計略を実行可能にする上で最も重要な部門である。市場促進サービスの全体的な目的は、農協・委員会等と小売販売組織との間に、直接の流通経路を開発することと、新たな市場開発によって、特定の農協・委員会の生産物の需要の拡大を図ると共に、青果生産物全体の需要を増大させることである。この部門の複雑さと重要性から、先ず、全体的な目的を示し、次に、実施に関わる市況の予測、計画、促進・販売の3部門の目的をあげる。

市場促進サービスの全体的な目的は以下の通りである。

- a) 農協・委員会の生産を、より所得率の高い品目の生産へと方向付けるため、国内市場の将来の供給と需要を前もって予測する。
- b) 農協・委員会と、組織化した小売業者との間に、直接の流通経路を開発する。
- c) 農協・委員会の生産物の為の市場を拡大し、流通を促進させる。
- d) 農協・委員会と小売業者の間の取引の仲介役として務める。
- e) 市場の状態に従って、農協・委員会の取引業務を計画する。

各支援部門の特定の目的は次の通りである。

市況予測部門： 全体的な目的のa)項の目的達成に役立つ、次の目的及び機能を持つ。

- 一 農協・委員会が扱う青果生産物の生産量及び価格を予測するための方法を開発する
- 一 生産物供給に最も影響する変数に基づいて、青果物の生産量の子測モデルを作成する。

青果生産物の市場価格のための予測モデルを作成する。

S I M Aから提供される新たなデータを用いて、予測モデルを構成するパラメータの修正を行い、定期的に予測モデルの修正を行う。

- 生産量及び市場価格の予測を効率良く行うために、コンピュータ処理のシステムを設計する。
- 上述のモデルを用いて青果生産物の生産量と価格の予測値を計算し、計画部門が利用できるようにする。

計画部門： e) 項の目的達成に役立つ。

特定の目的、機能は次に示す通りである。

- 市況予測部門から提供されるデータ及び流通促進・販売部門から提供される情報に基づいて、各農協・委員会に割当てる生産物毎の生産量を計算する。
- 各農協・委員会から生産物出荷計画を受取り、集計する。
- 生産物の入荷日、生産地、生産地に於ける貯蔵施設の状態、生産物の貯蔵性等に基づいて、流通促進・販売部門のための販売計画を作成する。
- 輸送コスト及び需要の集中具合によって、農協・委員会が出荷した生産物の目的市場への流れを調べる。

流通促進・販売部門：

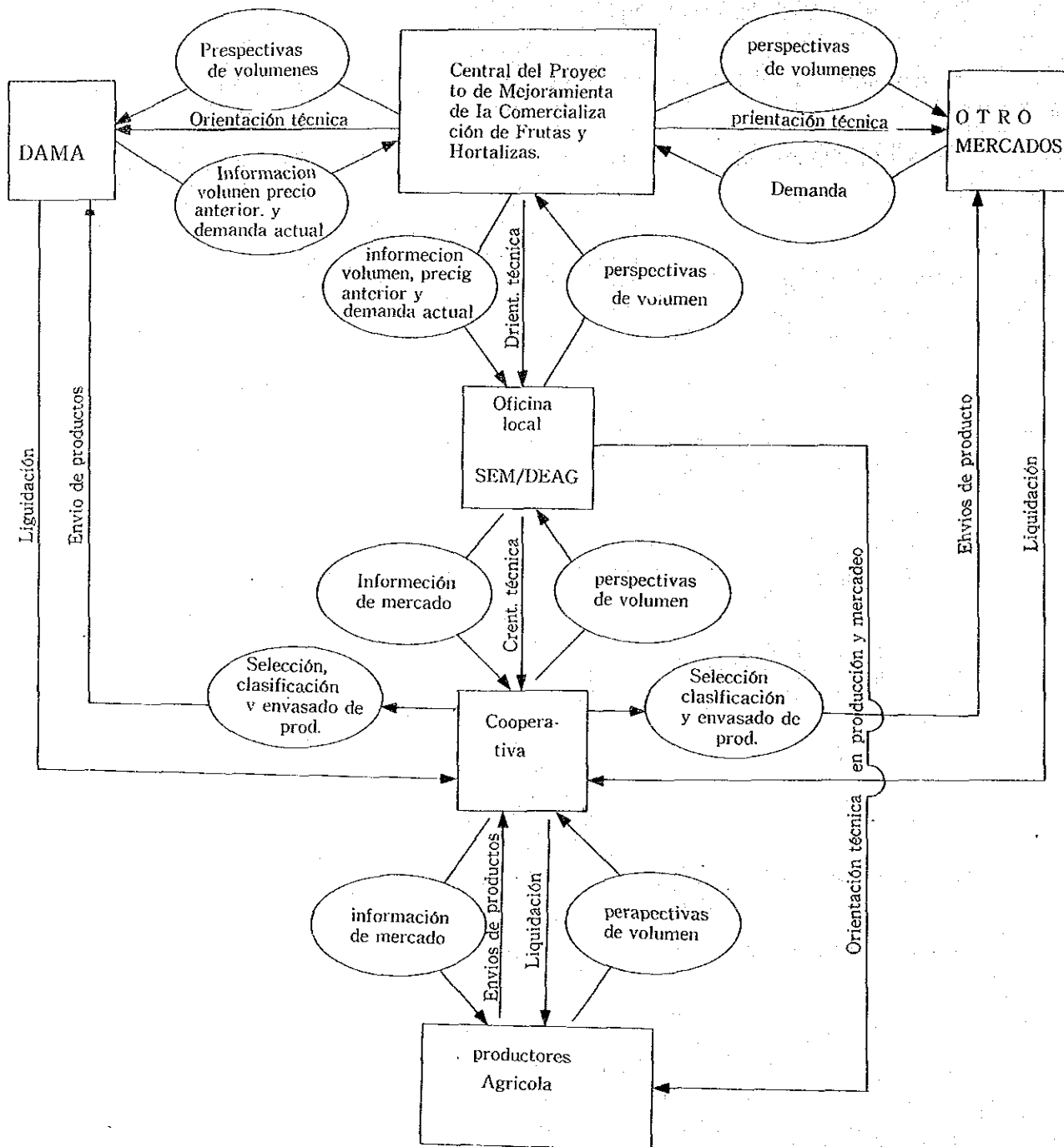
- 集荷センターから出荷される生産物の買手を求める。
- SEMの目的、役割、実施業務等に係る情報を仲買、小売業者に伝達、普及させる
- 計画部門が示す生産物供給の動きに合わせて、小売業者と生産物供給のための契約を結ぶ。
- 農協・委員会の生産物の市場への出荷を指導する。
- 出荷が契約した時期、条件で行われているかどうかを監督し、農協・委員会と買手の間の取引を具体化させる。

- 常時に市況を調査して、その最新情報を計画部門に伝え、市況予測の修正と生産の調節が行なえるようにする。
- 小売業者配置プログラムと協力して、小売業者の自発的連鎖経営の構成を奨励する
- 小売業者からの小口注文の集中を可能にする販売センターの調整を行う。
- 青果物の供給について、市役所の自由市や小売市場の関係者の台意をとりつける。

8. 青果物流通改善計画の流れ図

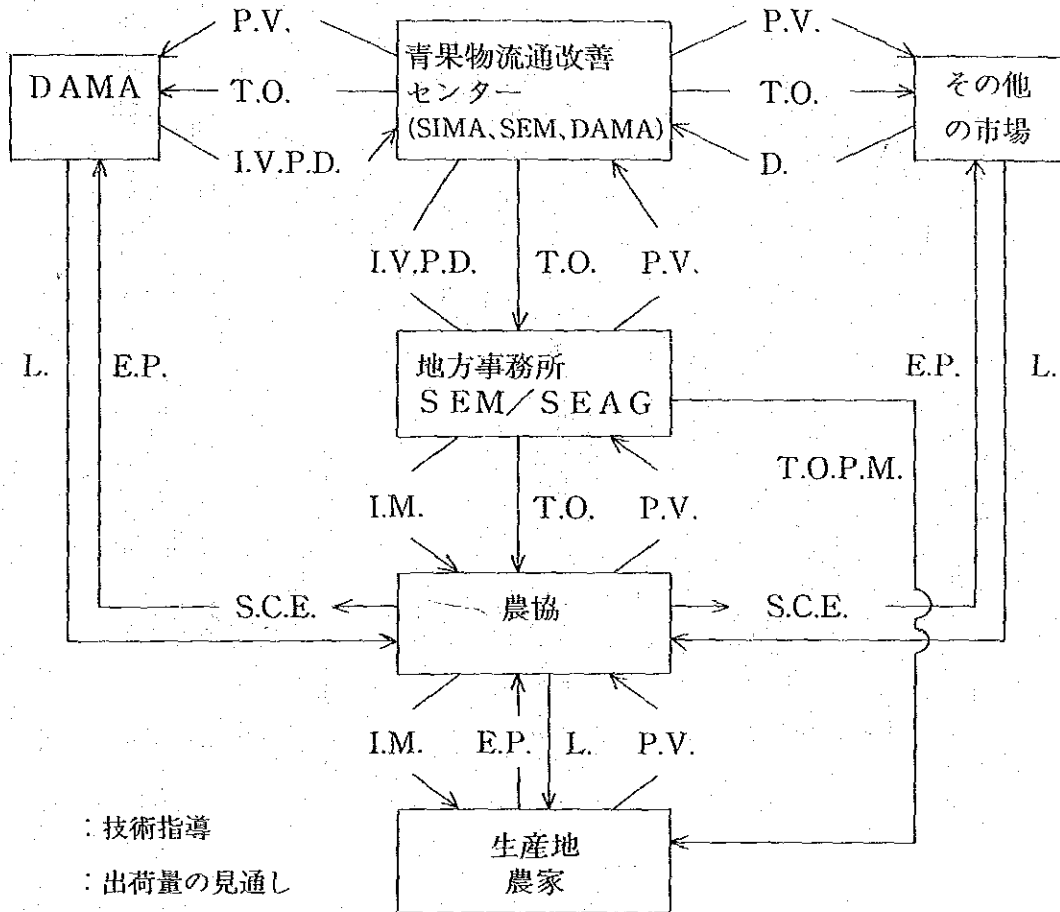
FLUGOGRAHA

PROYECTO DE MEJORAMIENTO DE Y HORTALIZAS



(8. 仮訳)

青果物物流改善プロジェクトの流れ図



- T.O. : 技術指導
- P.V. : 出荷量の見通し
- D. : 需要量
- I.V.P.D. : 前日の集荷量と価格、当日の需要量に関する情報
- I.M. : 市場情報
- T.O.P.M. : 生産と販売に関する技術指導
- S.C.E. : 生産物の選果、集出荷
- E.P. : 生産物の出荷
- L. : 代金決済

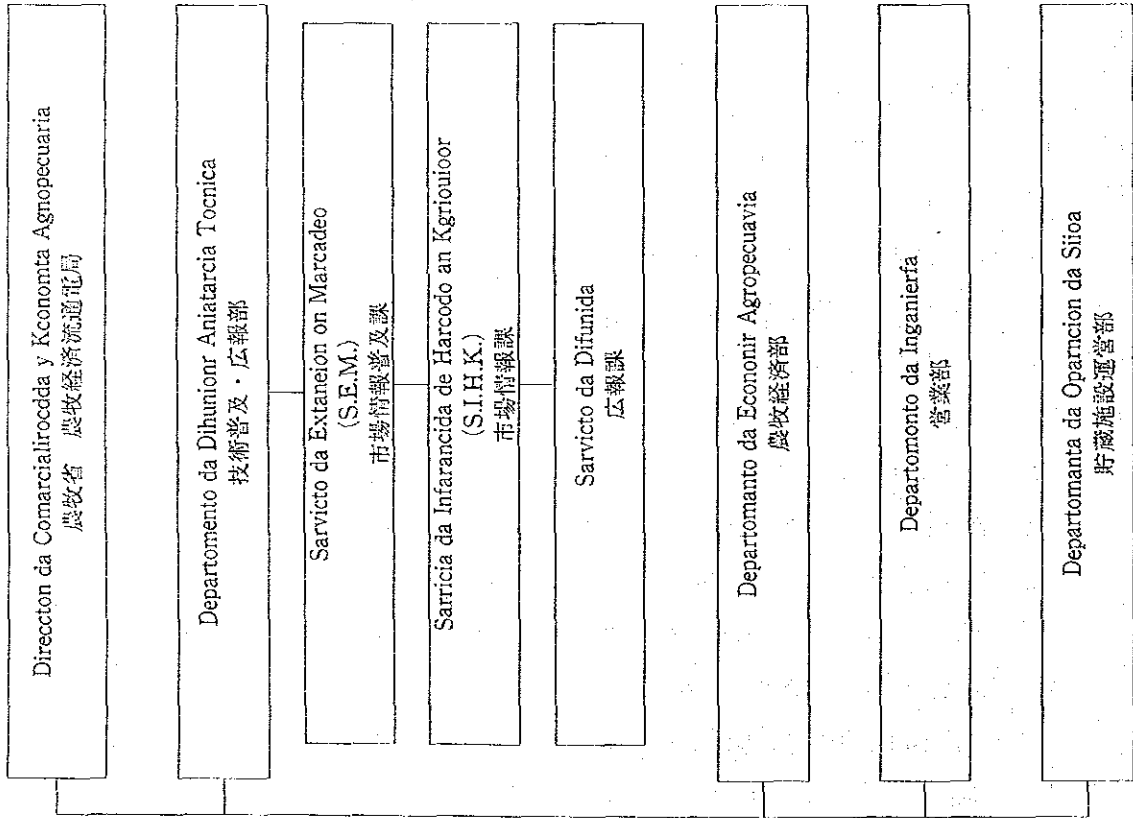
(注) 青果物物流センターについては、

- 1 機能、組織、目的については、M/Mに記載してある。
- 2 組織メンバーについては、C/Pリストのメンバーにより構成される。
- 3 特に、センターについては、調整委員会的機能を持つものであり、実際の活動拠点は、SIMA、SEM、DAMAである。

流れ図におけるSIMA、SEMの役割について、今後の技術移転過程で確立、明確にしていく必要がある。

農牧省プロジェクト関係 組織図

農牧省 農牧経済流通局カウンターパート リスト



Departomato da Economia A gropecuafia
Sarvicto da Extaneion en Mercadao (S.E.M.)
(技術普及・広報部 市場情報普及課)

Ing. Agr. Wilfrida Zarate (農牧経済流通局 局長)
Ing. Agr. Roque Laquizonon (技術普及・広報部 部長)
Ing. Agr. Braulito Romha (卸売市場・担当者)
Ing. Agr. Rubon Hedina (アスケンオン卸売市場・担当者)
Ing. Agr. Nalaom Banarente (ラ・コルネナ担当者)
Ing. Agr. Alfredo Arauto (コルネナ・オビエド担当者)
Ing. Agr. Noetar Ayala (技師)
Sr. Certio Lecario (助手)

Departomanta da Econonir Agropecuaria
Sarvicto Infarancion de Marcadao ol Agriculfoor (S.I.M.A.)
(技術普及・広報部 市場情報課)

Ing. Agr. Rafeala Bobailia da Martines (市場情報課・責任者)
Ing. Agr. Lidia Coniflea da Ferraiya (技師)
Srta. Ncanf Moatf (秘書・コンピューター見習い・技師)
Sr. Carloe Cantoro (助手)

Departomanta da Econonir Agropecuario
Sarvicto da Difunioa
(技術普及・広報部 広報課)

Ing. Agr. Alberta Eiaociotto (広報部・責任者)
Sr. Hector Sarvia (技術)
Sr. Carardo Villalba (助手)
Sra. Roeaiba Iaiano da Gonsales (助手)
Sra. Ivonna Goday da Ibpec (コンピューター技師・英語翻訳担当)

PROYECTO DE REJORAMIENTO DE LA COMERCIALIZACION DE FRUTAS Y HORTALIZAS

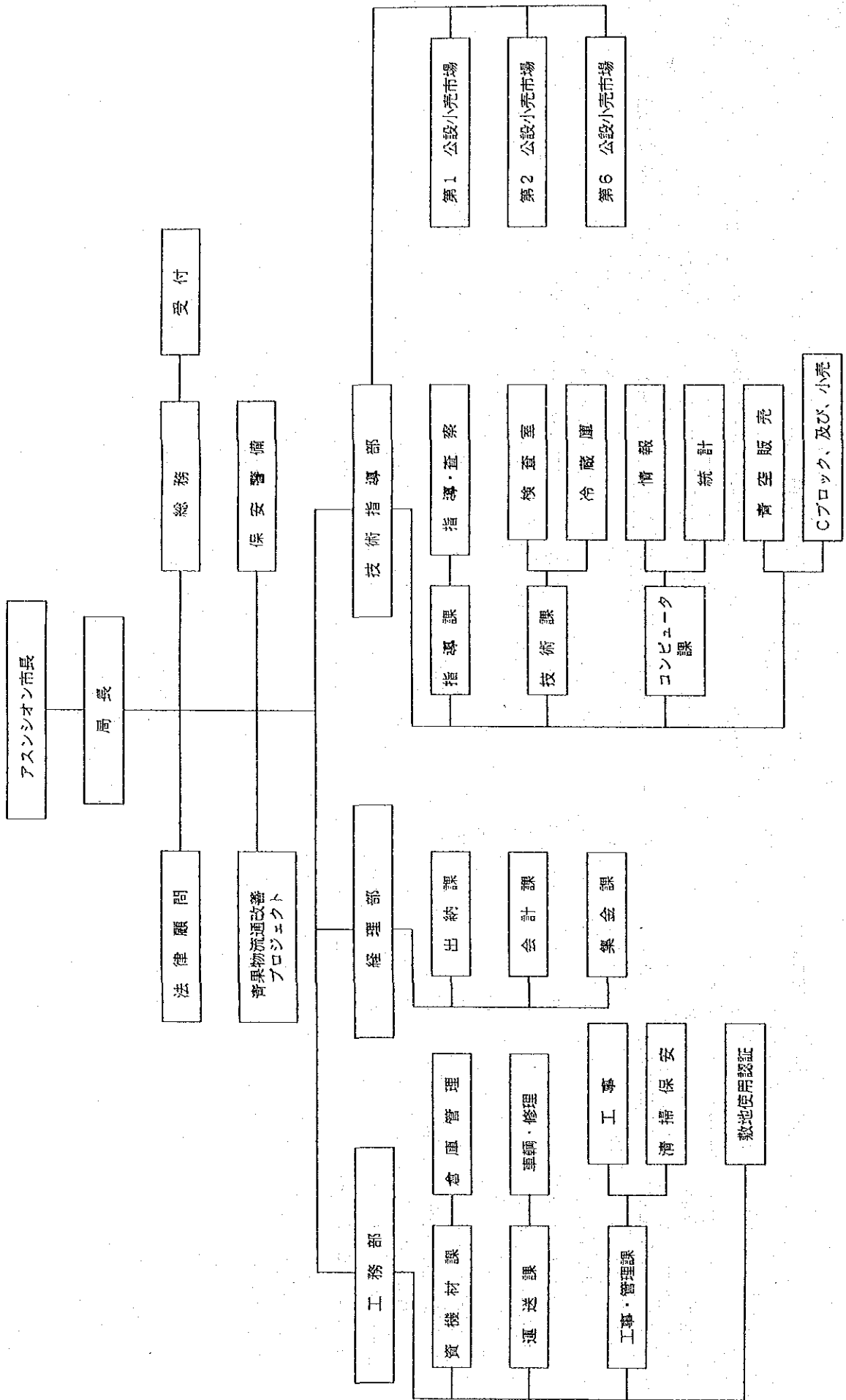
DISPONIBILIDAD DE CONTRAPARTE

D.A.M.A./J.I.C.A. (アスンション市食品流通管理局のカウンター・パート)

NOMBRE Y APELLIDO	EDAD	SEXO	ESTUDIO	CURSO	CARGO ACT.	ANTIGUEDAD	POSIBLE CARGO	OTROS
*1-GERARDO LOPEZ CECILIO KENNEDY DE MEDINO		MASC.	ING. AGR.	(N.S)	JEE OPTO. TEC.	10 años	COORD/PROY.	D.A.M.A./MAG (技術運営部長)
2-BENJAMIN STELATTO		MASC.	ING. AGR.		JEF. DIV. OPER.	2 meses	PADRONIZACION	D.A.M.A./MAG
3-ZULEMA REYES	29	FEMEW.	ING. AGR.		JEF. LAB.	5 años	CONTROL CAL.	D.A.M.A./MAG
4-WILFRIDO AMARILLA	39	MASC.	3er. MEDIC.		JEFE	9 años	DISTRIBUCION	MERC. ZOMAL
5-MIGUEL RUIZ DIAZ	28	"	BACH. AGR.		JEF. FERIAS	9 años	DISTRIBUCION	ASISTENTE
6-VICTOR CENTURION	30	"	TE. FRIGOR. BAC. AGR.		JEF. CAMARA	9 años	JEF. CAMAR. FRIGOR.	
7-BLAS AGUERO	25	"	BAH. HUMAN.	CONT. ORIENTAOR		4 años	ASIST. DISTR.	D.A.M.A./SIMA
<u>ADMINISTRACION DE MERCADO DE ABASTO</u>								
1-ARIEL T. ROMERO	25	MASC.	AROGADO		ASES. JURIO	5 años	MOD. RGTO. PADRON	D.A.M.A./MAG
*2-EDGAR BRITZ	43	MASC.	AROUTECTO		JEF. OBRAS	6 meses	COORD. CONSTR.	D.A.M.A.
3-MIGUEL CACERES	22	MASC.	COMP. 3er. EOOM.		JEF. ALMACENES	6 años	ENC. DONACIONES	D.A.M.A.
4-GLORIA CARDOZO	32	FEMEN.	LIC. CONTAB.		JEF. TESORERIA	3 años	COORD. CONT.	D.A.M.A.
5-BLAS CRISTALDO	21	MASC.	4to. ECOM.		ASIST. FINENC.	1.5 años	ASIST. CONT.	D.A.M.A.
6-LUIS LOPEZ	39	MASC.	3er. ADMIN.		JEF. CATASTRO	1 años	COORD. DOCUM.	D.A.M.A.
7-MYRIAN SOSA B.	27	FEMEN.	CONTAB.		ASIST. ADMINIST.	1.5 años	SECRET. PROYECTO	D.A.M.A.
<u>ESTADISTICA E INFORMACIONES</u>								
1-ANGEL SOSA	30	MASC.	LIC. COMP.		JEF. COMPUTACION	6 años	CUORD. COMP.	D.A.M.A./MAG
2-TERESA DE SCARONE	36	FEMEN.	LIC. MATEMAT.		JEF. ESTADISTICA	9 años	COORD. ESTADIST.	D.A.M.A./MAG
3-ZUNILDA GIMENEZ	33	FEMEN.	ING. AGR.		ASIST. LAB.	5 años	COORD. COMUNIC.	D.A.M.A./MAG
4-MARTA YORKI	26	FEMEN.	2do. COMP.		ASIST. COMP.	3 años	ASIST. COMP.	D.A.M.A./MAG
5-EMIGDIO CANTERO	28	MASC.	6to. BACH. HUMAN.	ASIST. COMP.		8 años	ASIST. ESTAD.	D.A.M.A./MAG
6-MARCOS ARGARA	24	MASC.	2do. CONTAB.		OPER. COMP.	3 años	OPERADOR COMP.	D.A.M.A.

(※：市長選挙に伴い、人事異動の予定)

アスンション市中央食品卸売市場組織図



JICA

LIE